

第四次白石市子ども読書活動推進計画



▲おはなし会（会場：こじゅうろうキッズランド）

令和4年4月
白石市教育委員会

第四次白石市子ども読書活動推進計画

【 目 次 】

はじめに	1
計画の概念図	2
第1章 子どもの読書活動の意義と現状	
第1節 子どもの読書活動を推進する意義	3
第2節 子どもの読書活動の現状	3
第2章 基本方針	
第1節 計画の目的	7
第2節 基本的方策	7
第3節 計画の位置付け	7
第4節 計画の期間	8
第3章 子どもの読書活動推進のための具体的施策	
第1節 家庭・地域における取り組み	9
第2節 保育園・幼稚園などにおける取り組み	11
第3節 学校・児童館における取り組み	13
第4節 図書館などにおける取り組み	16
第4章 推進体制の整備と関係機関の連携	
第1節 計画推進体制の整備	20
第2節 関係機関の連携・協力	20
資料編 白石市における子ども読書活動に関するアンケート調査	
	21
白石市における子ども読書活動関係事業などの調査について	49

はじめに

「頭にスパイス 心にビタミン 本のちから」

(平成19年8月「白石市子ども読書活動推進計画」に合わせて公募した標語です。)

読書は子どもにとって、読む力や考える力、創造力や判断力、表現力や感性を養い、豊かな心の形成と生きるためのさまざまな力を育みます。

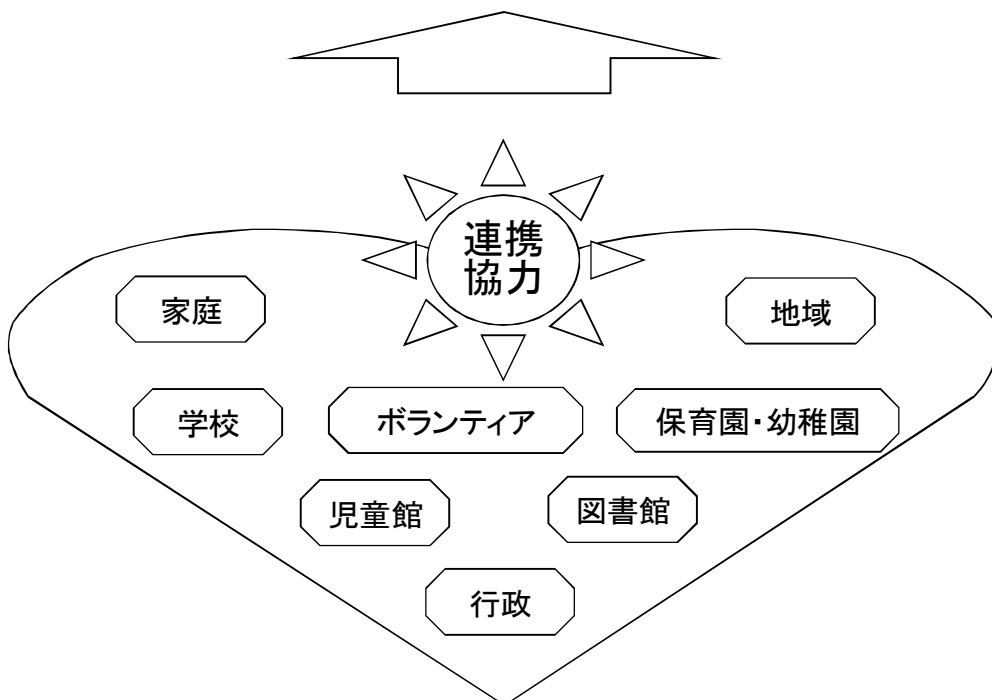
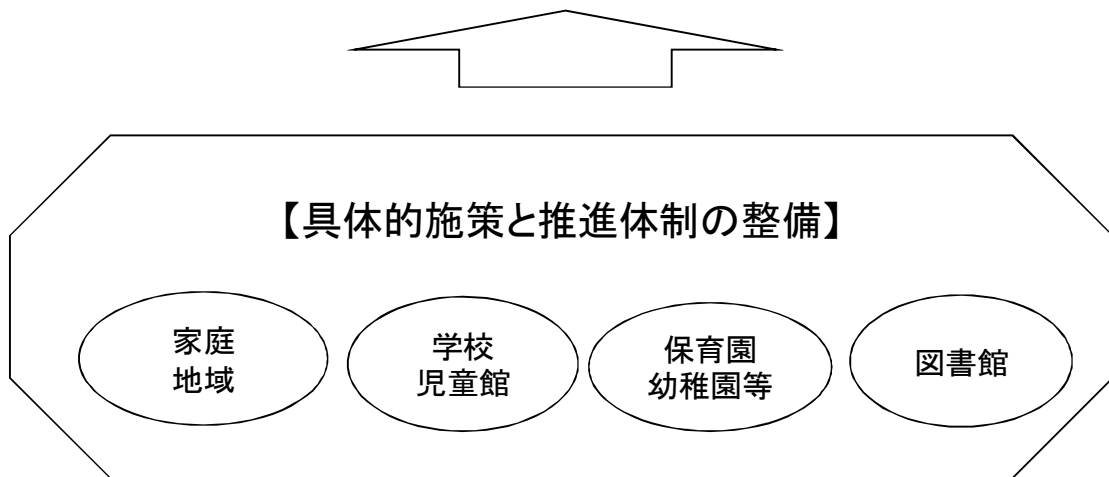
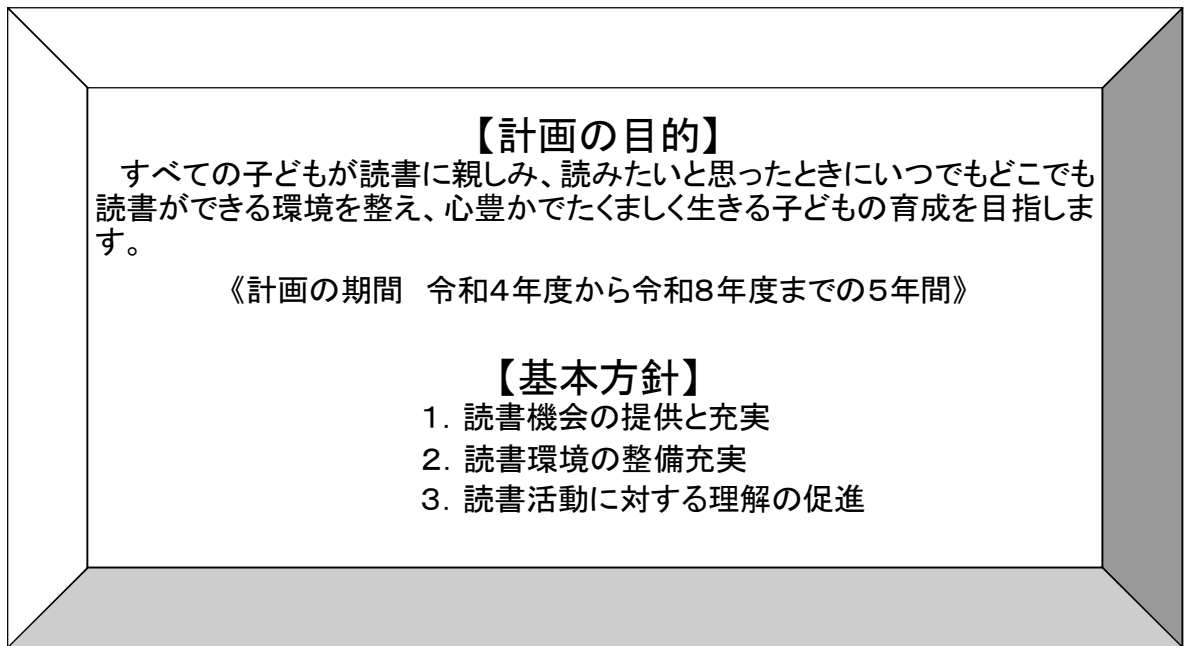
子どもの読書離れを防ぐため、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、国、県をはじめ各地でさまざまな取り組みが行われています。宮城県でも平成16年3月に「みやぎ子ども読書活動推進計画」が策定されました。白石市でも、平成19年10月に「白石市子ども読書活動計画」を策定し、家庭、地域、学校および図書館をはじめとする各関係機関が連携、協力して子どもの読書活動を推進していきけるように整備に努めてまいりました。

その後、県では平成21年4月に「第二次みやぎ子ども読書活動推進計画」、平成26年3月に「第三次みやぎ子ども読書活動推進計画」を策定し、国でも平成22年を「国民読書年」とする決議を行うなど、読書活動の取り組みを進めてきております。

その間、白石市では平成24年4月に「第二次白石市子ども読書活動推進計画」、平成29年4月に「第三次白石市子ども読書活動推進計画」を策定し、市内の読書環境の整備は進みましたが、依然として学年が上がるほど読書をしなくなる傾向が見受けられ、子どもの読書離れを十分に防ぐには至っておりません。

このたび、「第四次白石市子ども読書活動推進計画」を策定し、第三次計画期間における成果や課題、社会環境の変化を踏まえて、「頭にスパイス 心にビタミン 本のちから」を合い言葉に、令和4年度より5年間この計画に基づいて市内の子どもの読書活動を積極的に推進してまいります。

【白石市における計画の概念図】



第1章 子どもの読書活動の意義と現状

第1節 子どもの読書活動を推進する意義

子どもたちの生活環境は近年大きく変化しております。特にインターネットやスマートフォンの普及は学習や生活習慣に多大な影響を与えているだけでなく、価値観や考え方にも影響を与えているといわれております。

子どもにとって読書は、考える力、創造力や判断力、表現力や感性を養い、豊かな心の形成と生きるためのさまざまな力を育みます。

今、子どもが自主的に読書活動（電子書籍含む）を行うことや読書習慣（電子書籍含む）を身に付けるには、子どもの読書活動の大切さを市全体が理解し、子どもが、楽しみや喜びを感じながら読書に親しむことができるよう、家庭、地域、学校などが連携・協力し推進していく必要があります。

第2節 子どもの読書活動の現状

（1）全国の状況

全国の児童生徒の読書状況は、毎日新聞社と公益社団法人全国学校図書館協議会が実施した「第66回学校読書調査」にあらわれています。

それによると、令和3年5月の1ヵ月間にまったく本を読まなかったと回答したのが、小学生5.5%、中学生10.1%、高校生は49.8%と年齢が高くなるほど不読率も高くなる傾向にあり、これを当市の第三次子ども読書活動推進計画を策定した年の平成28年5月調査と比較すると、不読率は小学生が1.5ポイント増、中学生は5.3ポイント減、高校生7.3ポイント減と中・高校生では改善が見られました。しかし、小学生では、増加が見られ今後も取り組みを進めていくことの重要性が伺われます。

○全国の不読率

全国	小学生	中学生	高校生
平成28年	4.0%	15.4%	57.1%
令和3年	5.5%	10.1%	49.8%

(2) 宮城県の状態

宮城県内の児童生徒を対象とした宮城県の調査によると、令和3年9月の1ヵ月間にまったく本を読まなかったと回答したのが、小学生9.1%、中学生19.9%、高校生44.1%という結果です。これを平成28年9月調査と比較すると、小学生1.5ポイント増、中学生5.9ポイント増、高校生2.8ポイント増となり、全国の調査と同様に学年が上がるほど不読率が高い傾向が見られ、今後も取り組みの必要性が伺えます。

○宮城県の不読率

宮城県	小学生	中学生	高校生
平成28年	7.6%	14.0%	41.3%
令和3年	9.1%	19.9%	44.1%

(3) 白石市の状態

白石市では、平成29年4月に「第三次白石市子ども読書活動推進計画」（以下、「第三次計画」という）を策定し家庭、地域、学校および図書館をはじめとする各関係機関が連携・協力して子どもの読書活動を推進していけるよう整備に努めてまいりました。

この第三次計画によって、児童生徒の読書への取り組み方に変化があったかを確認するため、令和3年9月に、市内児童生徒およびその保護者を対象にアンケート調査を実施しました。アンケート対象者は、小学3年生、6年生および中学2年生とし、前回平成28年7月に行った時と同様の学年を対象に実施しました。また、今回から新たに幼稚園・保育園の5歳児保護者を対象として追加しました。

その結果によると、授業時間以外に1ヵ月間まったく本を読まなかったと回答したのが、小学生18.5%（H28 17.5%）1.0ポイント増、中学生20.3%（H28 19.2%）1.1ポイント増となっており、引き続き取り組みを行っていく必要があるという結果となりました。

その一方で平均読書冊数は、小・中学生ともに月に6冊以上読む児童生徒の割合が増加しております。特に月に10冊以上読む児童生徒の割合が小学生で23.6%（H28 19.0%）4.6ポイント増、

中学生が8.2%（H28 6.1%）2.1ポイント増となっており、読書をする児童生徒と、しない児童生徒がはっきりしているという結果となっています。

（４）第三次計画取組の成果と課題

第三次計画は各関係機関が連携し、家庭・地域と一体になって子どもの読書活動推進に取り組んでまいりました。

この結果、

- 〈1〉 図書館読み聞かせボランティアによる、小学校・保育園・幼稚園などへの出前読み聞かせ会が定着し、子どもたちが本にふれる機会が増えました。
- 〈2〉 学校一斉読書、学校支援ボランティア、図書館との連携など、学校における読書活動の普及が図られています。
- 〈3〉 平均読書冊数が、小・中学生ともに増加傾向にあります。*①
- 〈4〉 地域子育て支援センターで開催している育児講座などでは、保護者と子どもで絵本に親しめるよう、子どもの年齢に合わせた絵本の展示や、季節、遊びに関連した絵本の読み聞かせと紹介を行っています。

上記の取り組みにより、市内の読書環境の整備は進みましたが、しかしながら依然として学年が上がるほど読書をしなくなる傾向があります。子どもの自主的な読書活動を充実させるためには、家庭・地域・学校を通じた社会全体での取り組みが必要です。その上で、子どもの発達段階に応じて、子ども自身が読書そのものの楽しさを知り、読書を通じた感動体験を重ねることが重要です。

*① 月の平均読書冊数

H28調査	小学生5.61冊	中学生2.68冊
R3調査	小学生6.57冊	中学生3.18冊

(5) 国の動き

平成30年4月に、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が改訂され、「市町村計画の策定率の向上」や「不読率の改善」に向け、具体的な目標値が示されました。また、地域や学校などにおける子どもの読書活動の推進に向け、「充実した図書館サービスの提供」「司書及び司書補の専門的職員の配置・研修の実施など」に努めることや、「児童生徒の発達の段階に応じた体系的な読書指導」を行うこと、「学校図書館図書標準の達成」、「司書教諭や学校図書館担当職員の配置」の充実に努めることなど、地域や学校における具体的取り組みについて整理されました。



▲おはなしひろば（会場：アテネ絵本コーナー）



▲えほんであそぼう（会場：アテネ）

第2章 基本方針

第1節 計画の目的

すべての子どもが読書に親しみ、読みたいと思った時に、いつでもどこでも読書ができる環境を整え、心豊かでたくましく生きる白石の子どもを育成することを目的とし、本計画を策定します。

第2節 基本的方策

(1) 読書機会の提供と充実

子どもが自主的な読書活動を行うには、子ども自身が、読書の楽しさや大切さを知ることが必要です。

そこで、子どもが読書の楽しさや、大切さを知るきっかけを作るため、家庭、地域、学校および図書館などにおいて、「本にふれ」、「読書に親しむ」機会をより多く提供することに努めます。

(2) 読書環境の整備充実

子どもが、自主的な読書活動を行うための施設、設備の充実を図るとともに、読書活動推進のための人材育成と、人的支援を継続的に行うよう努めます。

(3) 読書活動に対する理解の促進

市全体として、子どもの読書活動を推進していくため、広く市民の理解が得られるよう、普及や啓発活動に努めます。

(4) 家庭、地域、学校と図書館・行政との連携の強化

家庭、地域、学校および図書館をはじめとする各関係機関が、連携・協力して子どもの読書活動を推進していけるよう、体制の整備に努めます。

第3節 計画の位置付け

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」、平成30年4月改訂「第四次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」および「第四次みやぎ子ども読書活動推進計画」をもとに、市町村に求

められる役割を踏まえ、子どもの読書活動を市全体として、推進するために策定するものです。

第4節 計画の期間

本計画は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。



▲小学4～6年生対象の「図書館体験隊」（会場：図書館）



▲読み聞かせ会（会場：地域子育て支援センター）

第3章 子どもの読書活動推進のための具体的施策

第1節 家庭・地域における取り組み

(1) 現状と課題

近年、インターネット・スマートフォンの普及やブログ・ツイッターといった、新たなコミュニケーションのデジタル化が進んでいます。今回のアンケート結果からも子どもの間にインターネットが浸透しつつあるようです。それに伴い、生活環境も変化し、スマートフォンへの過度の依存が、新たな問題を引き起こし、読書離れ・活字離れにもつながっています。インターネットやスマートフォン自体は、利用方法を誤らなければ知識を得たり、学習の大きな助けになります。適切な使用方法を守る家庭の取り組みが必要となってきます。

今回のアンケート調査によると本を話題に家族で話をした子どもは、話をしなかった子どもに比べて読書好きが多いという結果が出ています。*②

幼少期から本の楽しさを伝え、読書習慣を身に付けるには家庭での取り組みが非常に重要です。*③子ども読書活動推進においては幼少期からの読書に親しむための家庭と地域の取り組みが重要と考えます。

*② 「白石市における子ども読書活動に関するアンケート調査」令和3年9月より

1) 本を話題に家族で話した場合

子ども：読書が「好き」または「どちらかといえば好き」との回答が、
小学生83.0% 中学生93.0%

2) 同じく話をしなかった場合

子ども：読書が「好き」または「どちらかといえば好き」との回答が、
小学生68.0% 中学生61.0%

*③ 同アンケート調査より

1) 子どもが読書に親しむような、きっかけづくりの回答より

- (1) なにかの記念に本をプレゼントする 17.6%
- (2) 自ら進んで読書をする 5.6%
- (3) 本を読んで聞かせる（読んで聞かせたことがある） 32.6%
- (4) 自分の読んだ本を子どもに薦める 7.2%
- (5) 図書館に連れて行く 8.1%
- (6) その他 4.6%
- (7) 特に何もしていない 24.3%

(2) 取り組み

1 読書機会の提供と充実

ア ブックスタート事業

6ヵ月児育児相談日に絵本をプレゼントし、赤ちゃんとその保護者の方に、絵本にふれるきっかけを作る事業として平成20年4月から開始しました。赤ちゃんの様子に合わせて無理なく絵本を読むことは、親子のコミュニケーションの場ともなり、本や物語の楽しさを知るための良い機会となります。このため感染症対策を徹底し、今後も継続していきます。



▲ブックスタート事業でプレゼントする絵本

イ 読み聞かせ会の開催

図書館ボランティアを活用して小学校、保育園や幼稚園への出前読み聞かせ会を定期的に行い、子どもたちの読書が定着するようになりました。今後も、子どもたちが本の楽しさを知る、より多くの機会を設けていきます。

ウ こじゅうろうキッズランドの絵本とのふれあい

平成30年8月に開館した屋内あそび場「子育て支援・多世代交流複合施設（こじゅうろうキッズランド）」には、親子でふれあうことを目的とした、絵本のコーナー「よむよむひろば」が設置されています。

こじゅうろうキッズランドの絵本コーナーや毎月開催している読み聞かせ会の周知を図り、より多くの方が絵本と親しめるよう、

絵本にふれる機会の提供を行い、絵本を介した親子のふれあいを支援していきます。

2 読書環境の整備充実

ア 人材の養成

第一次計画からの取り組みにより図書館読み聞かせボランティアの育成を進めております。育成したボランティアにより「出前読み聞かせ会」を開催しており、引き続き地域との連携を図りながら養成を進めていきます。

イ ICT の活用

パソコンとスマートフォンは、様々な情報を得るアイテムの一つとして広く普及しています。市図書館において、インターネット予約サービスや電子図書館サービスを実施するなど、地域や家庭に、ホームページやSNSを通して、より多くの読書活動に関する情報を提供していきます。

3 読書活動に対する理解の促進

ア 啓発活動の推進

「子ども読書の日」、「こどもの読書週間」や「読書週間」の周知を行い啓発活動に努めてまいります。

イ 保護者支援

幼少期からの読書の定着には、保護者の理解が不可欠です。

「読み聞かせ講習会」を通じての活動や、平成20年4月からは「ブックスタート事業」を実施しています。本にふれるきっかけ作りになるように、今後も継続していきます。

第2節 保育園・幼稚園などにおける取り組み

(1) 現状と課題

乳幼児期の読み聞かせは、子どもの感性や創造力などを高めるとともに、言葉を学ぶきっかけともなる大切な働きかけといわれています。

保育園や幼稚園では、これまでもさまざまな機会の中で、子どもた

ちに絵本の読み聞かせを行ってきました。あわせて、保護者と子どもが絵本の楽しさを共有できるような時間を設け、保護者が絵本の魅力を知り子どもと一緒に絵本を楽しめるように、年齢毎の絵本を紹介してきました。また、園の絵本や移動図書館で貸し出しされている絵本などを家庭において親子で楽しめるように、希望者には貸し出しを行っています。

地域子育て支援センターでは、未就園児とその家族を対象に子どもの年齢に合わせたきめ細やかな事業を展開し、保護者支援を行っています。「るーむ」では各年齢・月齢に合わせた絵本の読み聞かせを行い、「絵本の読み聞かせ会」では就学前までの子どもにおすすめの絵本を紹介するなど、親子に絵本の楽しさを伝えています。

通所施設「ひこうせん」では、発達につまづきや障がいを持つ子どもを対象に、保育士による絵本の読み聞かせを保育の時間の中で実施し、絵本やおはなしに興味を持てるよう取り組んでいます。

保育園・幼稚園の蔵書は、図書館や地域からの供給のほか、各施設で毎年計画的に絵本を購入し充実を図っています。しかし、膨大な絵本などの管理や整理がなかなかできない状況でもあります。

(2) 取り組み

1 読書機会の提供と充実

ア 読み聞かせの充実

これまで取り組んできた活動をさらに進め、図書館ボランティアの「出前読み聞かせ会」の活用や絵本の読み聞かせを通して、乳幼児が本に親しむ機会をより多く取り入れていくよう努めます。

イ 蔵書の貸し出し

保育園や幼稚園で所有している絵本や移動図書館で配本された絵本を、家庭においても活用できるよう、機会を捉えて保護者に積極的に貸し出しを進めていくよう努めます。

2 読書環境の整備充実

ア 蔵書の充実と絵本コーナーの整備

乳幼児期の各段階に応じた本を購入するなど、すべての保育園

や幼稚園に等しく蔵書を整備し、保育時間の読み聞かせや保護者、家庭への貸し出しに対応できるよう努めます。

また、今ある環境を利用して子どもたちが自ら絵本を手にとりたくなるような環境の整備、いつでも読みたい時に手にとれる絵本コーナー作りを推進します。

イ 職員に対する研修の実施

読み聞かせや保護者への啓発活動、本の管理、修繕などの技術向上のため、職員向けの研修会を開催します。

3 読書活動に対する理解の促進

保護者を対象とする講演会の開催、絵本だよりの発行、チラシやパンフレットの配布を通して、子どもと保護者が本の楽しさを共有していけるよう啓発に努めます。

第3節 学校・児童館における取り組み

(1) 現状と課題

学校においては、「朝読書」をはじめ、これまでもさまざまな機会において、読書活動が行われています。アンケート調査においても、「読みたかったが読めなかった」と回答する児童・生徒が減少しているところからも読書をする機会は着実に増加しているといえます。

また、アンケート調査から1ヵ月あたりの平均読書冊数についても増加しており、これもこれまでの取り組みの成果だと思えます。しかしながら、不読率についてはあまり減少が見られない点は課題として残ります。

今回のアンケート調査の中で学校の授業なども含め、本を読む理由について聞いたところ、「朝の読書、夏休みの課題などにより学校で読む時間があったため」とする回答が小学生33.8%、中学生45.5%と非常に高く、読書の推進に学校の取り組みが重要であることがわかります。

今後も、家庭との連携を図りながら読書習慣を身に付けるような計画的な取り組みが必要となります。

児童館は、子どもに健全な遊びを与え、その健康増進や豊かな情操

を育むための施設ですが、絵本の読み聞かせの活動や蔵書を自由に手にとって読むことができる環境は、子どもが本に親しむ重要なきっかけを与えています。

また、絵本の読み聞かせに限らず、各行事においてもパネルシアター*④や、エプロンシアター*⑤を活用しての取り組みも「子どもの聞く力」を養う上では大切なことです。

(2) 取り組み

1 読書機会の提供と充実

ア 一斉読書などの推進

市内の小・中学校においては、全校一斉読書の取り組みがほぼ定着しています。毎朝10分ほどの読書時間を設けることで、落ち着いた雰囲気の中で1時間目の授業に入っていけるなどの効果も出ており、今後も継続的に推進していきます。

また、「子ども読書の日」や「読書週間」の啓発に努め、児童相互の読み聞かせなど、読書活動を推進する取り組みの一層の充実に努めます。

イ 図書資料を利用した学習活動の推進

各教科、特別活動および総合的な学習の時間において、図書資料を積極的に活用する機会を設け、図書の選び方や、利用の仕方についての理解を深めるよう努めます。

ウ 学校図書館開放事業の推進

学校図書館の利用を促進し、あわせて家庭における図書の利用に供するため、学校図書館を地域に開放するよう取り組みます。

*④ 布を貼ったパネルを舞台に不織布で作られた人形などを貼り付けながら演じるおはなしやうたあそび

*⑤ 舞台に見立てた胸当て式エプロンに物語の背景とマジックテープを縫いつけ、人形などをエプロンに貼り付けながら演じるおはなしやうたあそび

エ 児童館における取り組みの推進

母親クラブなどの地域ボランティアや、ジュニア・リーダーと協力しながら、読み聞かせをはじめとする取り組みを積極的に推進します。

学校の長期休業日には、上級生による読み聞かせ会などを取り入れ、読書に親しむ活動を計画的に行います。

2 読書環境の整備充実

ア 蔵書管理システム（パソコン）の導入

学校図書館の蔵書管理と、利用の利便性を向上するため、蔵書管理システムの導入を推進し、市図書館との総合利用などの連携に努めます。

あわせて、インターネットの利用を可能にし、調べ学習などに活用できるよう整備を進めます。

イ 人的支援の促進

いつでも読みたい時に本を手にとることができる環境作りを推進するため、すべての小・中学校の専任司書教諭や事務担当職員、あるいは図書ボランティアの充実に努めます。

そして、学校図書館の運営および活用を中心とする司書教諭の役割について、校内で共通認識を持ち活動するため、協力体制を整えるよう努めます。

ウ 学校図書館および児童館図書コーナーの充実

学校図書館、児童館ともに蔵書の充実に努め、児童生徒が自主的に足を運ぶ図書館（図書コーナー）の整備を進めます。

また、購入する本の選定や図書だよりの発行など図書委員会活動などを通して、児童生徒に主体的に図書業務を運営させるなど、本に親しむ機会を増やし、身近でいつでも立ち寄れる図書館を目指します。

児童館では、いつでも手軽に、本にふれることができる環境作りに努め、来館した児童が読書に興味を持ち、自主的な読書活動が行えるよう取り組みます。

3 読書活動に対する理解の促進

ア 情報の提供

学校図書館、児童館ともに市図書館と連携し、各学年に合わせた図書の紹介や新着図書リストの作成、図書館だよりの発行など、より多くの情報を児童生徒に提供していくとともに、児童生徒による図書館新聞などの発行を通して、児童生徒らが情報を共有していけるように図ります。

イ 研修会の実施

図書資料の取り扱いや読書の効果などについて、教職員の共通認識が非常に重要であるため、研修会を実施します。

第4節 図書館などにおける取り組み

(1) 現状と課題

市図書館は、建物入口を入ってすぐ右手に読書スペースを併設した「子ども読書室」を設けているほか、アテネ2階にも親子で本に親しめる絵本コーナーを設け本に親しむ環境を整えました。

特に、図書館読み聞かせボランティアの活動で、図書館以外の保育園・幼稚園・小学校で活動する「出前読み聞かせ会」が定着化しました。

さらに、インターネットを活用した蔵書検索が可能であり、新着図書情報のページでは、一般書と分けて「子どもの本」のページを設けました。

また、インターネットによる予約サービスを令和3年1月から開始し、図書館に来館して本を選ばなくても、自宅で読みたい本を選び予約することができるようになりました。

さらに、令和3年10月20日から電子図書館のサービスを開始しました。24時間いつでもどこでもパソコンやスマートフォンを利用し、読みたい本を借りて読むことができるようになります。インターネット予約サービスとあわせて、感染症の拡大予防にも繋がると考えます。

一方、現図書館は、昭和49年に建設され、当時想定された以上の蔵書を抱え、スペースの確保が深刻な問題となっています。子どもが

読書に親しみ読みたいと思った時にいつでもどこでも読書ができる環境を整えるためにも、限られた施設を有効活用し、読書ニーズにこたえてまいります。

また、施設・設備の充実はもちろん、専門的知識を有する職員およびボランティアを養成し、それらを最大限に活用できる体制を整えることが重要であります。

(2) 取り組み

1 読書機会の提供と充実

ア 各種イベントの充実

これまで行ってきた展示会は、より多くの親子が安心して参加できるように、感染症対策を徹底しイベントを開催していきます。

また、絵本の読み聞かせを継続的に実施し、より多くの市民が本の楽しさにふれる機会を提供していきます。

イ 利用者の登録

早い段階から子どもたちが本に親しむことができるように、保育園・幼稚園・児童館と連携し、保護者の理解を得ながら利用者カードの作成を推進していきます。

ウ 移動図書館車「こまくさ号」の活用促進

「こまくさ号」による活動は、図書館に来られない、本にふれる機会の少ない子どもたちのため、昭和45年より続いているものです。今後も継続していきます。

2 読書環境の整備充実

ア 絵本・児童書・ヤングアダルトコーナーの充実

発達段階に応じた読書週間の形成に向け、利用者ニーズに基づいた積極的な新刊の購入を行います。特にヤングアダルトコーナー（10代のあなたに読んでほしい本）にあっては、図書館の利用機会が少ない対象世代への利用促進を図るため、SNS等を利用し積極的に情報を発信していきます。

イ ICT の活用

蔵書検索システムや新着図書情報など、最新情報を発信したサイト運営を目指します。

インターネット予約サービスや利用促進のため、利用者への周知を徹底していきます。

電子図書館サービスでは、GIGA スクール構想に合わせ、児童、生徒向けの本を多く入れ、子どもたちが本を読む機会を増やしていきます。

ウ 職員の育成と適正配置

専門知識を有する職員を配置育成し、レファレンスサービス*⑥を強化して「子どもの調べ学習にもきめ細やかな対応ができる図書館」を目指します。

エ ボランティアの組織的活動推進

図書館ボランティアは、子どもの読書活動にとって欠かすことのできない貴重な人材です。ボランティアが最大限効果的な活動を行うことができるよう、図書館においてボランティアの養成と組織化を進めます。

3 読書活動に対する理解の促進

ア 保護者と子どもに対する啓発

子どもにも保護者にも、本の楽しさと大切さを伝えるため、読書活動に関するチラシやパンフレットを配布するとともに、専門家や職員による講座や研修会を開催します。また、おすすめの絵本リスト・発達段階別ブックリストなどを作成します。

イ 情報発信

「利用のご案内」や図書館だより・各種チラシ・広報・読書感想文「さぎんか」および図書館のホームページなどにより情報を広く

*⑥ 利用者の質問に対して、職員が所蔵資料等を活用し、資料や情報の提供などのサービスを行うことです。

提供していきます。また、インスタグラムによるイベントなどの情報発信も積極的に行っていきます。

ウ 身近な図書館づくり

「図書館体験隊」、「おりがみひろば」、「おはなしひろば」、「中・高校生の職場体験」などを通して、子どもが図書館をより身近なものと感じられるよう積極的に取り組んでいきます。



▲10代のあなたに読んでほしい本（会場：図書館）



▲小学4～6年生対象の「図書館体験隊」（会場：図書館）

第4章 推進体制の整備と関係機関の連携

第1節 計画推進体制の整備

各関係機関は、本計画の周知に努めるとともに、それぞれ子ども読書活動に係る担当者を配置するなど、市全体として組織的、継続的に本計画を推進していきます。

第2節 関係機関の連携・協力

「子ども読書活動」を推進していくためには、市図書館が中心となり、市関係機関、学校関係者、ボランティア関係者などの間で人・モノ・情報などを共有し相互に活用できる体制を整えます。

県や他市町村とも、公立図書館の相互貸借制度や情報の共有化を図ることにより連携を強化していきます。

子どもが本を読みたくなる、そして読みたいと思った時に、いつでもどこでも本が読める環境を整えるためには、家庭や地域における取り組み、関係機関との協働は欠かすことができません。

白石市は、家庭、地域、学校および図書館など、すべての関係機関と一体となって、子どもの読書活動推進に全力を挙げて取り組んでいきます。



▲読み聞かせ会（会場：地域子育て支援センター）

【資料編】

白石市における子ども読書活動に関する アンケート調査

実施：令和3年9月

白石市教育委員会

白石市子ども読書活動推進計画 【資料編】

目 次

子どもの読書活動に関するアンケート調査について	23
アンケート調査集計表	24
アンケート調査結果	
小学生計	27
中学生計	33
児童・生徒計	39
保護者計	45
白石市における子ども読書活動関係事業等の調査について ...	49

子どもの読書活動に関するアンケート調査について

○白石市における子ども読書活動に関するアンケート調査実施要項（抜粋）

1. 目的

白石市における子どもの読書活動の現状を把握し、策定を予定している「第四次白石市子ども読書活動推進計画」の基礎資料とするとともに、更なる活動の推進に資するため、アンケート調査を実施する。

2. 調査対象

白石市内の幼稚園・保育園の5歳児保護者、小学3年生、6年生および中学2年生とその保護者を対象とする。

3. 調査方法

調査は、別紙「白石市における子ども読書活動に関するアンケート用紙」（以下「アンケート用紙」という。）に基づき行う。

(1) 実施については、対象の園児・児童・生徒に別紙アンケート用紙を配布し行う。

園児・児童・生徒は、アンケート用紙を自宅に持ち帰り保護者とともに記入のうえ、幼稚園・保育園または学校に提出することとする。

(2) 幼稚園・保育園・学校は、提出されたアンケート用紙を取りまとめ、4に定める期日までに教育委員会生涯学習課に提出する。

なお、提出にあたって、各幼稚園・保育園・学校における集計は要しない。

(3) アンケート用紙の回収について、児童・生徒又は保護者一方のみの回答も有効とする。

4. 調査期間

アンケート用紙の配布及び回収は以下に定める日程で行う。

(1) 配布日 令和3年9月 1日（水）（生涯学習課→幼稚園・保育園・学校）

(2) 回収期限 令和3年9月14日（火）（園児・児童・生徒→幼稚園・保育園・学校）

(3) 提出期限 令和3年9月21日（火）（幼稚園・保育園・学校→生涯学習課）

5. 回答結果

	小学生	中学生	保護者	総数
配布数	483	278	934	1,695
回答数	428	259	726	1,413
回答率（%）	88.6	93.2	77.7	83.4

質問1 本を読むことが好きですか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
好き	36.0%	34.8%	38.3%	22.2%
どちらかといえば好き	38.0%	38.6%	36.7%	46.1%
どちらかといえば嫌い	18.7%	18.1%	19.5%	26.9%
嫌い	7.3%	8.5%	5.5%	4.7%

質問2 1ヶ月におよそ何冊の本を読みますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
0冊	19.2%	18.5%	20.3%	59.6%
1冊	17.1%	14.6%	21.1%	23.2%
2～3冊	24.9%	18.5%	35.5%	13.7%
4～5冊	14.0%	16.1%	10.5%	1.7%
6～9冊	7.1%	8.8%	4.3%	0.4%
10冊以上	17.7%	23.6%	8.2%	1.5%

質問3 なぜ0冊だったのですか。【質問2〈0冊〉回答者のみ】

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
読みたかったが読めなかった	22.2%	24.7%	17.9%	44.6%
読みたいと思わなかった	77.8%	75.3%	82.1%	55.4%

質問4 読めなかった理由は何ですか。【質問3〈1. 読みたかったが読めなかった〉回答者のみ】

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
読みたい本がなかった	38.2%	34.7%	45.0%	6.6%
勉強・塾・習い事で時間がなかった<保護者のみ「仕事で時間がなかった」>	19.1%	16.3%	25.0%	71.8%
スポーツ活動で時間がなかった	7.4%	8.2%	5.0%	0.9%
何を讀んだらよいかわからなかった	14.7%	20.4%	5.0%	3.5%
その他	20.6%	20.4%	20.0%	17.2%

質問5 読みたいと思わなかったのはどうしてですか。【質問3〈2. 読みたいと思わなかった〉回答者のみ】

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
読書に興味が無い	32.9%	26.7%	41.8%	29.1%
読む必要がなかった	8.6%	10.5%	5.5%	7.0%
テレビの方が楽しい	2.9%	3.5%	1.8%	3.1%
ゲームの方が楽しい	21.4%	25.6%	14.5%	0.8%
マンガ・雑誌の方がおもしろい	11.4%	15.1%	7.3%	10.1%
スポーツの方が楽しい	13.6%	11.6%	16.4%	1.9%
インターネットの方が楽しい	6.4%	4.7%	9.1%	6.2%
仕事が忙しくて読む気になれなかった				31.8%
その他	2.9%	2.3%	3.6%	10.1%

質問6 本を読む理由は何ですか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
学校で本を読む時間があつた	38.4%	33.8%	45.5%	7.1%
友達・家族・先生にすすめられた	5.0%	6.9%	2.0%	5.0%
知らないことが分かる・新しい知識が得られる	18.4%	23.0%	11.1%	42.5%
テレビや映画を見て原作を読みたいと思った	9.4%	8.6%	10.7%	14.1%
話題になっている本があつた	6.4%	7.4%	4.7%	13.8%
読書が習慣になっている	7.3%	5.4%	10.7%	3.4%
その他	15.1%	14.8%	15.4%	14.0%

質問7 市の図書館をおよそどのくらい利用していますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
まったく利用しない	58.2%	50.9%	69.9%	63.5%
年に数回くらい	26.5%	29.1%	22.3%	27.6%
毎月1～3回くらい	10.1%	12.1%	7.0%	8.5%
毎週1回以上	3.2%	4.9%	0.4%	0.4%
ほぼ毎日	2.0%	3.0%	0.4%	0.0%

質問8 学校の図書室をおよそのくらい利用していますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
まったく利用しない	38.9%	17.4%	73.7%	
年に数回くらい	22.5%	27.0%	15.1%	
毎月1～3回くらい	22.8%	31.7%	8.4%	
毎週1回以上	12.9%	19.4%	2.4%	
ほぼ毎日	2.9%	4.4%	0.4%	

質問9 誰によく本を読んでもらったか覚えていますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
父・母・祖父母	45.2%	45.4%	44.9%	
保育園・幼稚園の先生	23.4%	26.7%	18.1%	
読んでもらったことがない	6.7%	7.9%	4.7%	
覚えていない	23.5%	18.3%	31.9%	
その他	1.2%	1.7%	0.4%	

質問10 いつ頃から本を好きになったと思いますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
小学校に入る前	27.7%	34.2%	17.3%	
小学校に入ってから	37.3%	40.0%	33.1%	
中学校に入ってから	9.3%		24.0%	
本は好きではない	25.7%	25.8%	25.6%	

質問11 本を好きになったきっかけは何だったと思いますか。【質問10 1. 2. 3. 回答者のみ】

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
小さいころ読み聞かせをしてもらった	29.8%	35.5%	20.7%	7.9%
本屋さんや図書館によく行っていた	16.0%	12.4%	21.8%	31.5%
家族や先生に読書をすすめられた	4.8%	4.6%	5.2%	4.8%
本が好きな友達がいた	6.6%	5.5%	8.3%	5.5%
家族がよく本を読んでいた	6.6%	8.1%	4.1%	8.5%
なんとなく	25.8%	25.1%	26.9%	29.9%
その他	10.4%	8.8%	13.0%	11.9%

質問12 自宅に読める本は何冊くらい置いてありますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
ほとんどない	10.5%	10.4%	10.6%	
3～5冊	16.5%	17.3%	15.4%	
6冊以上	73.0%	72.3%	74.0%	

質問13 電子書籍(ケータイ小説やオンライン小説等)を読んだことはありますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
よく読む	11.0%	9.2%	13.8%	
たまに読む	23.3%	17.6%	32.4%	
全く読まない	65.7%	73.2%	53.8%	

質問14 電子書籍を読む理由は何ですか。【質問13 1. 2. 回答者のみ】

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
内容がおもしろいから	34.5%	29.5%	39.0%	
話題になっているから	8.5%	7.1%	9.8%	
文章が読みやすいから	13.6%	17.0%	10.6%	
本を買ったり、借りたりする手間がかからないから	29.4%	28.6%	30.1%	
その他	14.0%	17.9%	10.6%	

質問15 本を話題に家族で話しをしたことがありますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
ある	41.7%	41.4%	42.3%	
ない	58.3%	58.6%	57.7%	

質問16 1日にスマートフォン(携帯電話)を何時間使いますか。

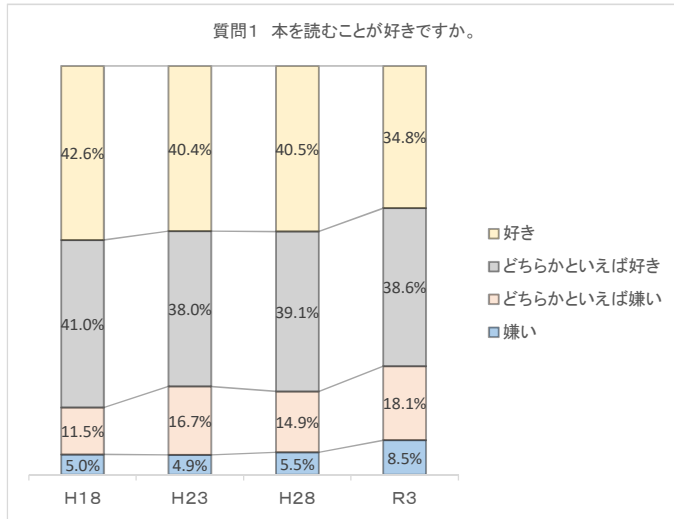
	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
1時間未満	13.4%	17.2%	7.5%	19.3%
1時間以上2時間未満	17.7%	15.7%	20.9%	39.5%
2時間以上3時間未満	16.9%	10.0%	28.0%	22.6%
3時間以上	21.7%	14.7%	32.7%	16.6%
スマートフォンを持っていない	30.2%	42.4%	11.0%	1.9%

質問17 お子さんに本を読んであげることが重要と思われませんか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
非常に重要				49.2%
やや重要				42.3%
それほど重要とは思わない				7.8%
全く重要とは思わない				0.7%

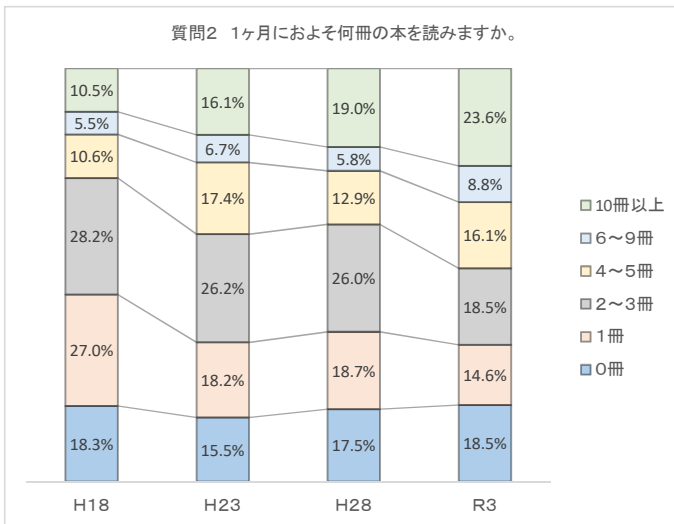
質問18 お子さんが読書に親しむような、きっかけづくりをされていますか。

	児童生徒計	小学生計	中学生計	保護者計
なにかの記念に本をプレゼントする				17.6%
自ら進んで読書をする				5.6%
本を読んで聞かせる(聞かせたことがある)				32.6%
自分の読んだ本を子どもに薦める				7.2%
図書館に連れて行く				8.1%
その他				4.6%
特に何もしていない				24.3%



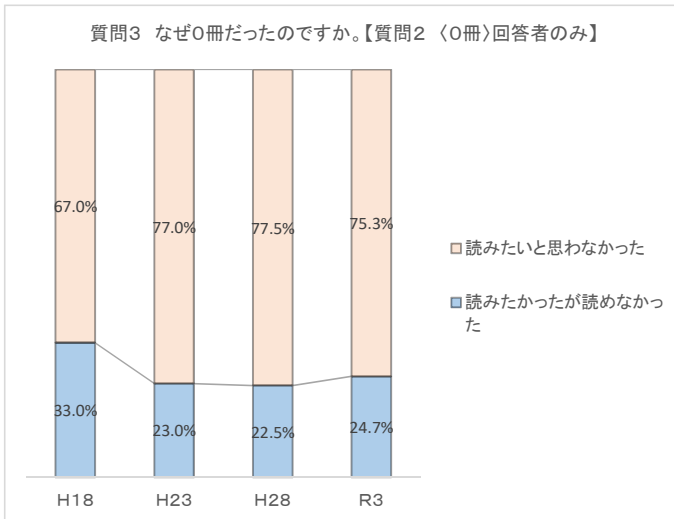
I あなたは読書が好きですか

- 好き 34.8%
- どちらかといえば好き 38.6%
- どちらかといえば嫌い 18.1%
- 嫌い 8.5%



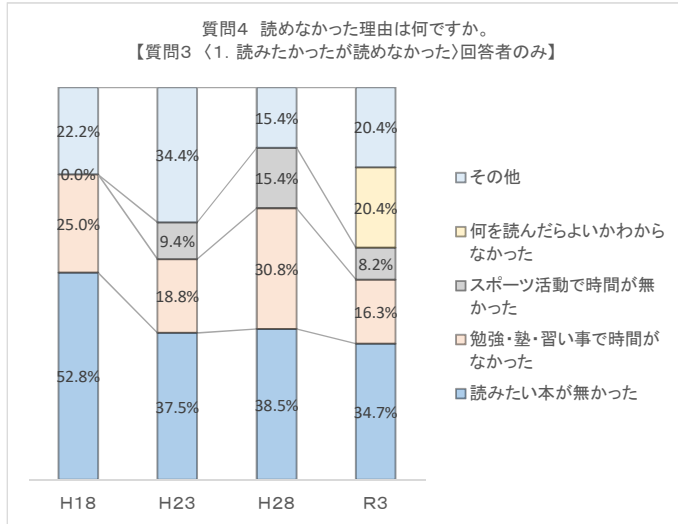
II 1ヶ月に読む本の冊数は？

- 0冊 18.5%
- 1冊 14.6%
- 2~3冊 18.5%
- 4~5冊 16.1%
- 6~9冊 8.8%
- 10冊以上 23.6%



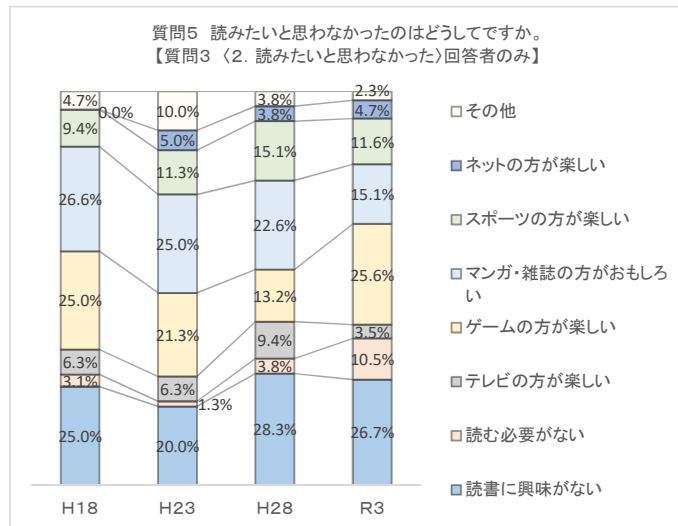
III なぜ0冊だったのですか？
(IIで0冊と答えた人)

- 読みたかったが読めなかった 24.7%
- 読みたいと思わなかった 75.3%



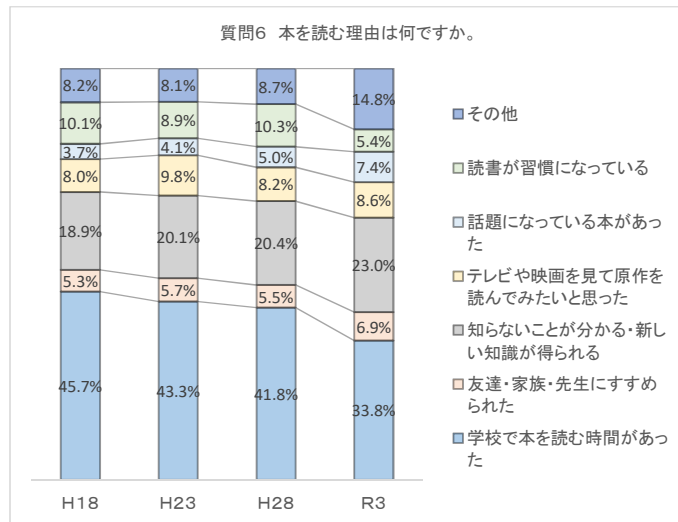
IV Ⅲで「読みたかったが読めなかった」と答えた人～その理由は？

1. 読みたい本がなかった 34.7%
2. 勉強・塾・習い事で時間がなかった 16.3%
3. スポーツ活動で時間がなかった 8.2%
4. 何を读んだらよいかわからなかった 20.4%
5. その他 20.4%



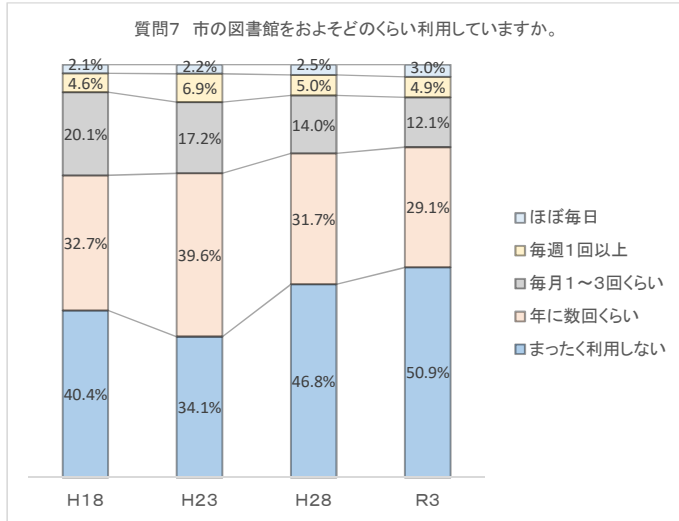
V Ⅲで「読みたいと思わなかった」と答えた人～その理由は？

1. 読書に興味がない 26.7%
2. 読む必要がなかった 10.5%
3. テレビの方が楽しい 3.5%
4. ゲームの方が楽しい 25.6%
5. マンガ・雑誌の方が面白い 15.1%
6. スポーツの方が楽しい 11.6%
7. インターネットの方が楽しい 4.7%
8. その他 2.3%



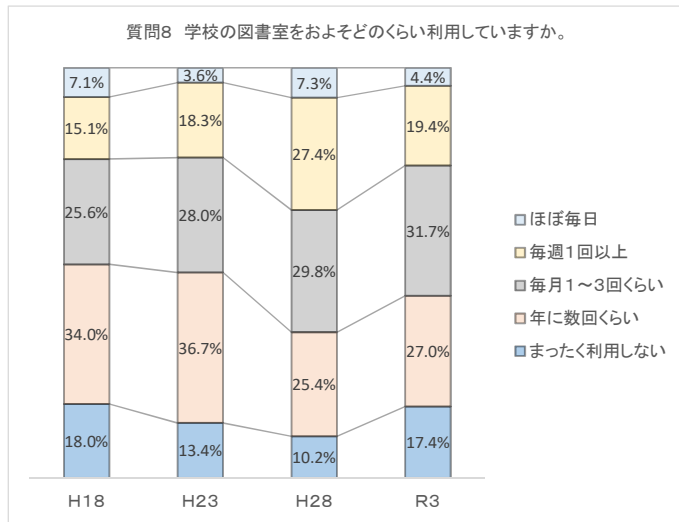
VI (学校の授業等も含め) 本を読む理由は何ですか？

1. 学校で読む時間があつた (朝の読書、夏休みの課題等) 33.8%
2. 友達・家族・先生にすすめられた 6.9%
3. 知らないことが分かる・新しい知識が得られる 23.0%
4. テレビや映画を見て原作を読みたいと思った 8.6%
5. 話題の本があつた 7.4%
6. 読書が習慣になっている 5.4%
7. その他 14.8%



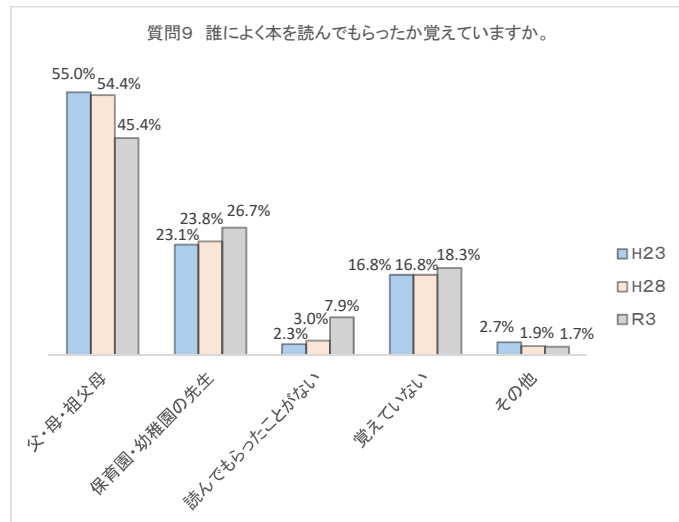
Ⅶ 市図書館をどのくらい利用しますか？

1. まったく利用しない	50.9%
2. 年に数回	29.1%
3. 毎月1~3回	12.1%
4. 毎週1回以上	4.9%
5. ほぼ毎日	3.0%



Ⅷ 学校図書館をどのくらい利用しますか？

1. まったく利用しない	17.4%
2. 年に数回	27.0%
3. 毎月1~3回	31.7%
4. 毎週1回以上	19.4%
5. ほぼ毎日	4.4%

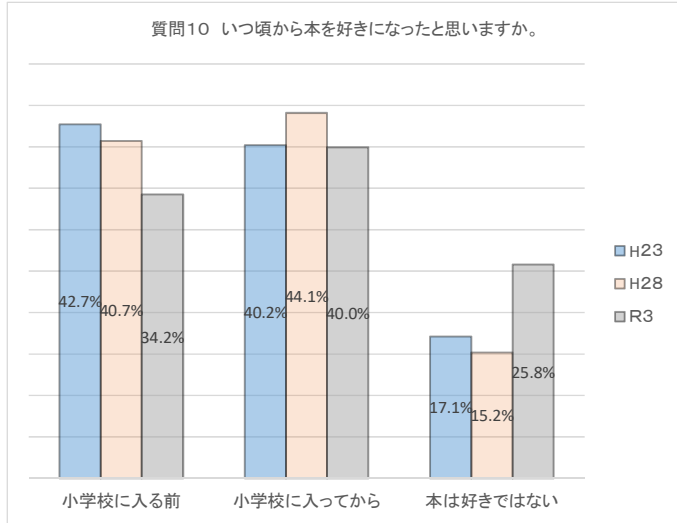


Ⅸ 誰によく本を読んでもらったか

1. 父・母・祖父母	45.4%
2. 保育園・幼稚園の先生	26.7%
3. 読んでもらったことがない	7.9%
4. 覚えていない	18.3%
5. その他	1.7%

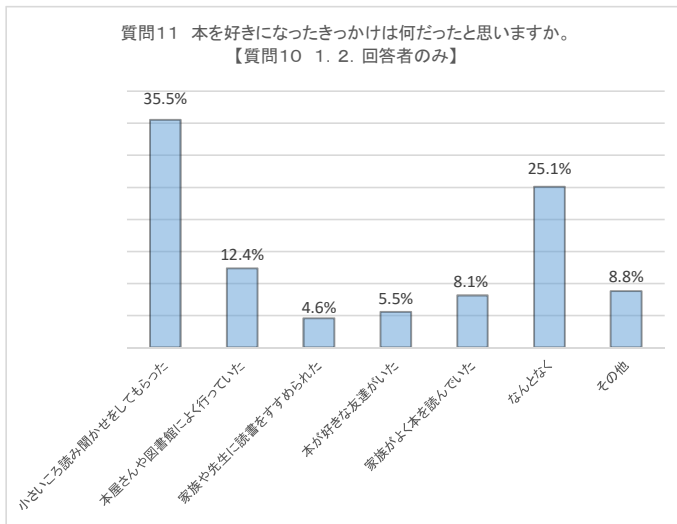
白石市における子ども読書活動に関するアンケート調査(小学生 計)

実施:R3. 9



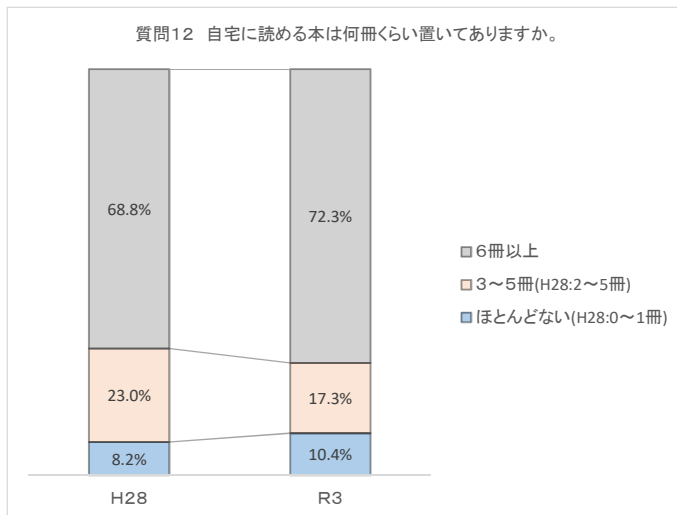
X いつ頃から本を好きになったか

1. 小学校に入る前 34.2%
2. 小学校に入ってから 40.0%
3. 本は好きではない 25.8%



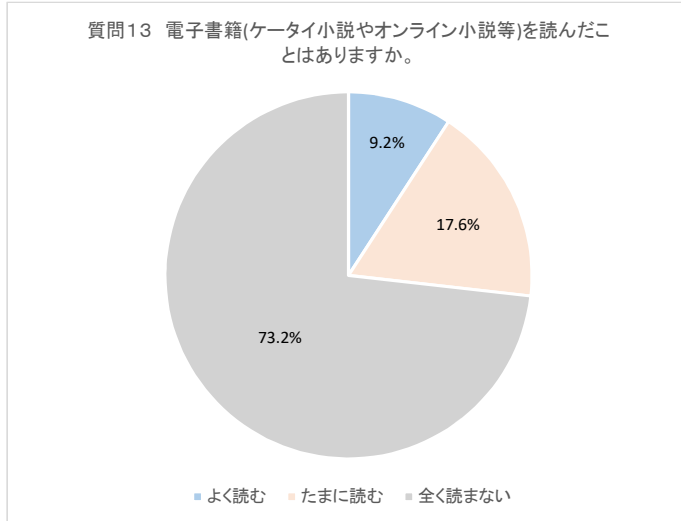
X I Xで1, 2と答えた人
本を好きになったきっかけは

1. 小さいころ読み聞かせしてもらった 35.5%
2. 本屋さんや図書館によく行っていた 12.4%
3. 家族や先生に読書をすすめられた 4.6%
4. 本が好きな友達がいいた 5.5%
5. 家族がよく本を読んでいた 8.1%
6. なんとなく 25.1%
7. その他 8.8%



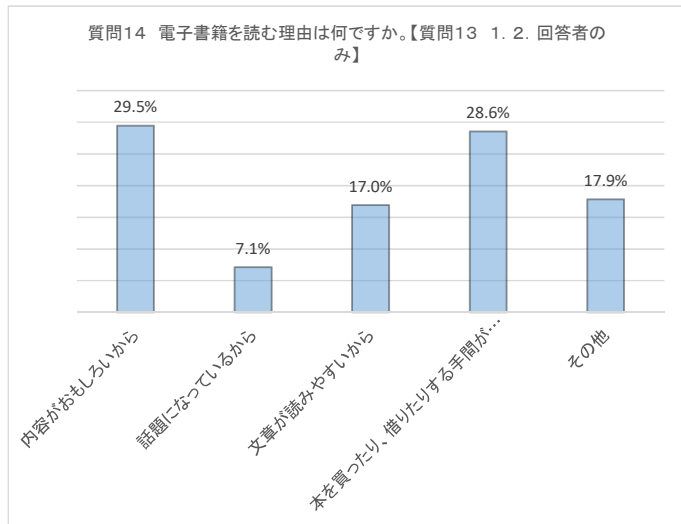
X II 自宅にあなたが読める本は何冊あるか

1. ほとんどない 10.4%
2. 3~5冊 17.3%
3. 6冊以上 72.3%



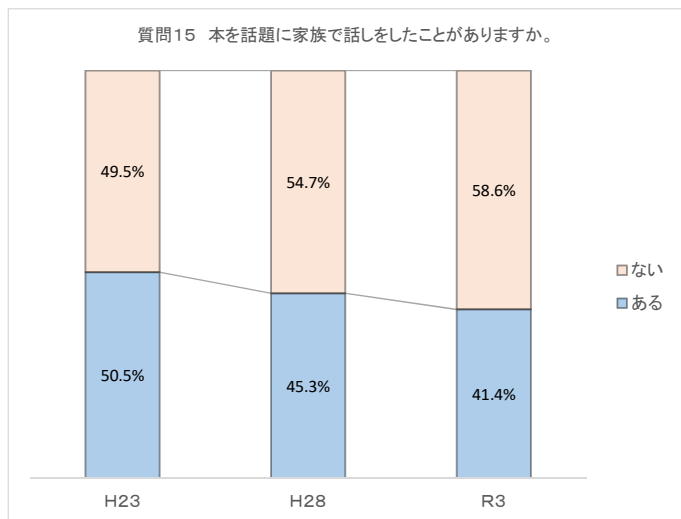
XⅢ 電子書籍(ケータイ小説やオンライン小説等)を読んだことはあるか

- よく読む 9.2%
- たまに読む 17.6%
- 全く読まない 73.2%



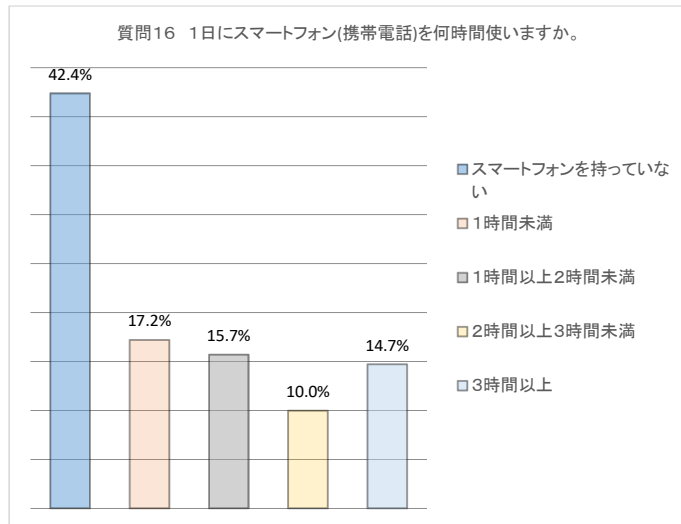
XⅣ 電子書籍を読む理由は何ですか。
【質問13 1. 2. 回答者のみ】

- 内容が面白いから 29.5%
- 話題になっているから 7.1%
- 文章が読みやすいから 17.0%
- 本を買ったり、借りたりする手間がかからないから 28.6%
- その他 17.9%



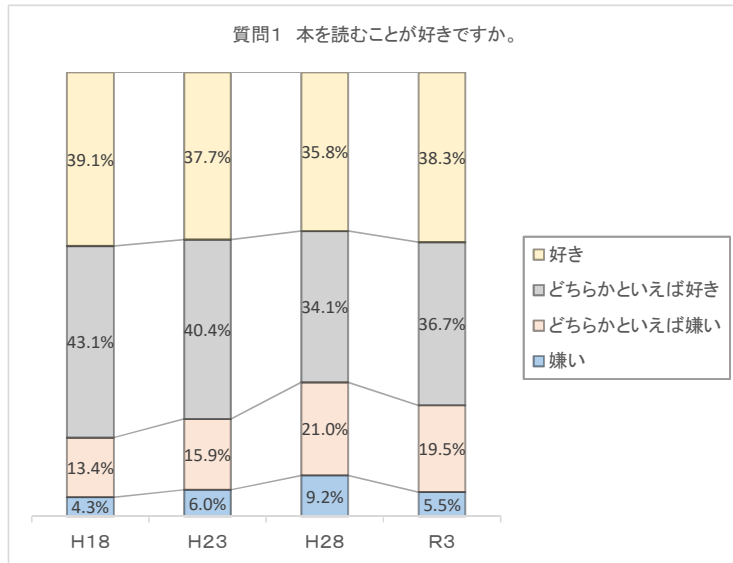
XⅤ 本を話題に家族で話しをしたことがあるか

- ある 41.4%
- ない 58.6%



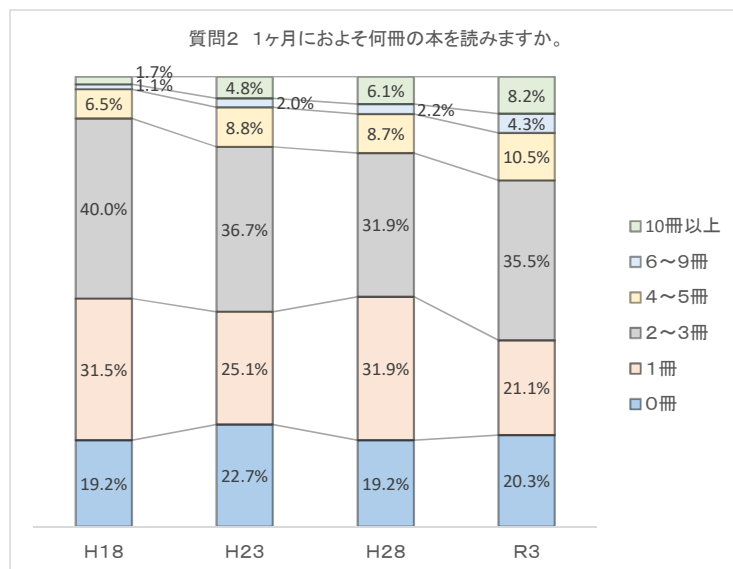
XVI 1日にスマートフォン(携帯電話)を何時間使いますか

1. スマートフォンを持っていない	42.4%
2. 1時間未満	17.2%
3. 1時間以上2時間未満	15.7%
4. 2時間以上3時間未満	10.0%
5. 3時間以上	14.7%



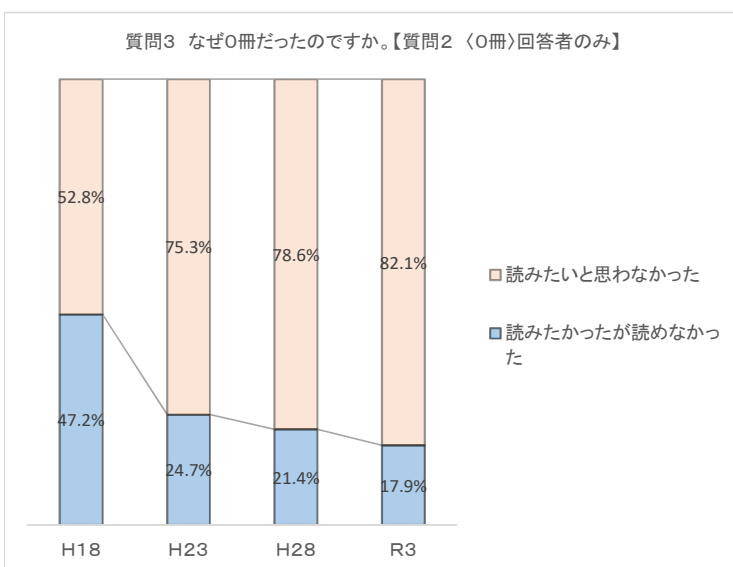
I あなたは読書が好きですか

1. 好き	38.3%
2. どちらかといえば好き	36.7%
3. どちらかといえば嫌い	19.5%
4. 嫌い	5.5%



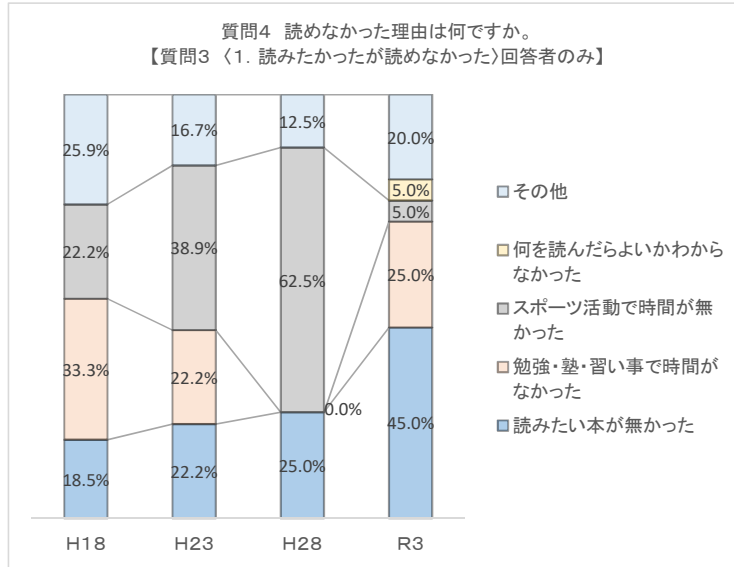
II 1ヶ月に読む本の冊数は?

1. 0冊	20.3%
2. 1冊	21.1%
3. 2~3冊	35.5%
4. 4~5冊	10.5%
5. 6~9冊	4.3%
6. 10冊以上	8.2%



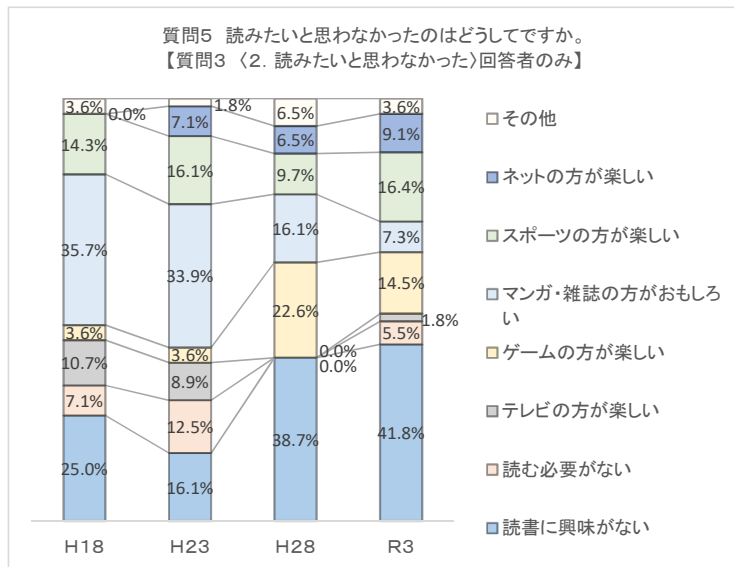
III なぜ0冊だったのですか?
(IIで0冊と答えた人)

1. 読みたかったが読めなかった	17.9%
2. 読みたいと思わなかった	82.1%



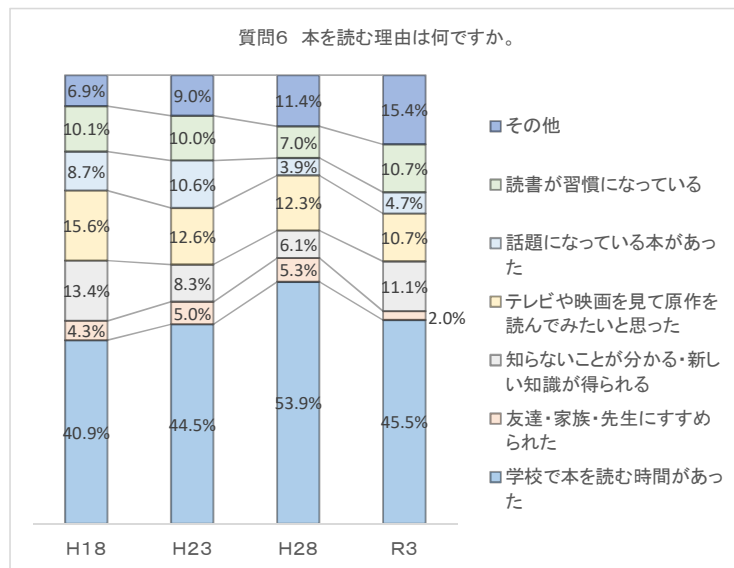
IV Ⅲで「読みたかったが読めなかった」と答えた人～その理由は？

1. 読みたい本がなかった	45.0%
2. 勉強・塾・習い事で時間がなかった	25.0%
3. スポーツ活動で時間がなかった	5.0%
4. 何を讀んだらよいかわからなかった	5.0%
5. その他	20.0%



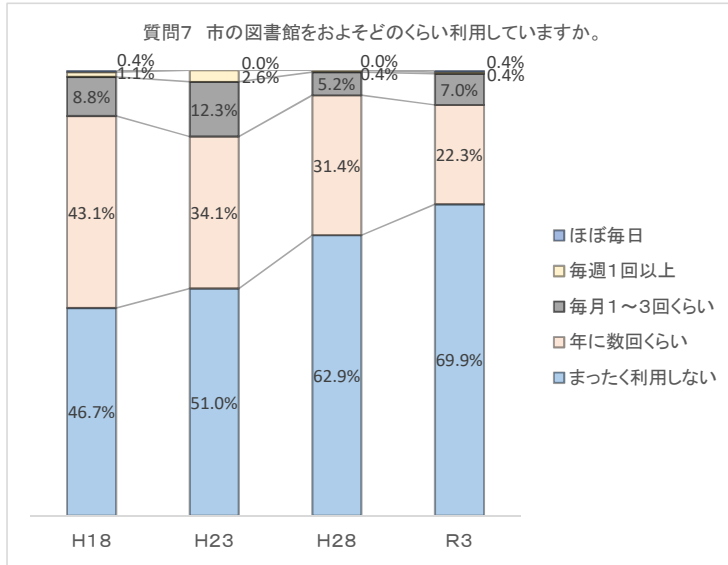
V Ⅲで「読みたいと思わなかった」と答えた人～その理由は？

1. 読書に興味がない	41.8%
2. 読む必要がなかった	5.5%
3. テレビの方が楽しい	1.8%
4. ゲームの方が楽しい	14.5%
5. マンガ・雑誌の方が面白い	7.3%
6. スポーツの方が楽しい	16.4%
7. インターネットの方が楽しい	9.1%
8. その他	3.6%

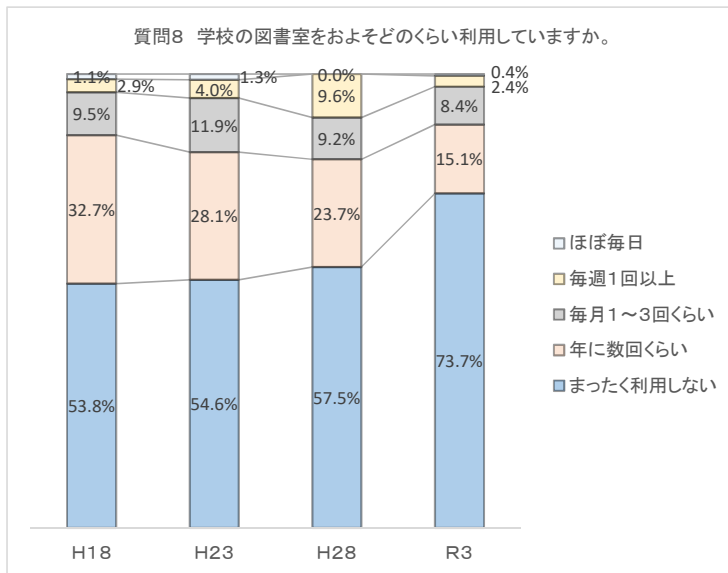


VI (学校の授業等も含め) 本を読む理由は何ですか？

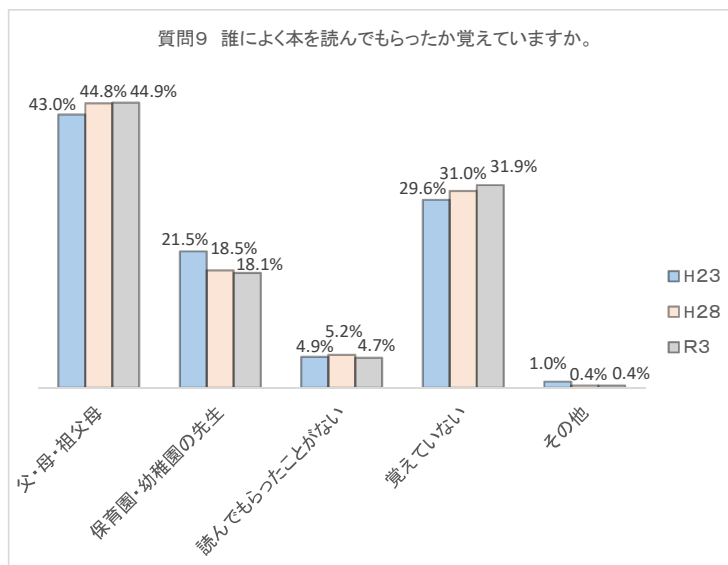
1. 学校で読む時間があつた (朝の読書、夏休みの課題等)	45.5%
2. 友達・家族・先生にすすめられた	2.0%
3. 知らないことが分かる・新しい知識が得られる	11.1%
4. テレビや映画を見て原作を読みたいと思った	10.7%
5. 話題の本があつた	4.7%
6. 読書が習慣になっている	10.7%
7. その他	15.4%



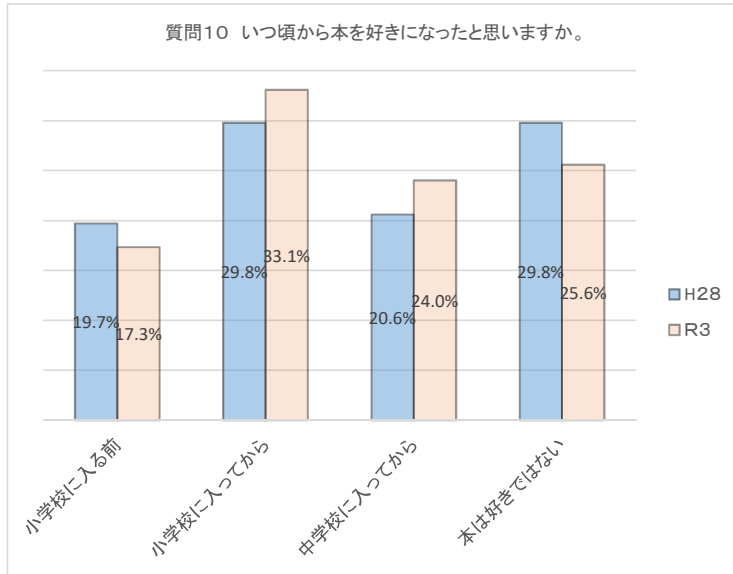
- Ⅶ 市図書館をどのくらい利用しますか？
1. まったく利用しない 69.9%
 2. 年に数回 22.3%
 3. 毎月1~3回 7.0%
 4. 毎週1回以上 0.4%
 5. ほぼ毎日 0.4%



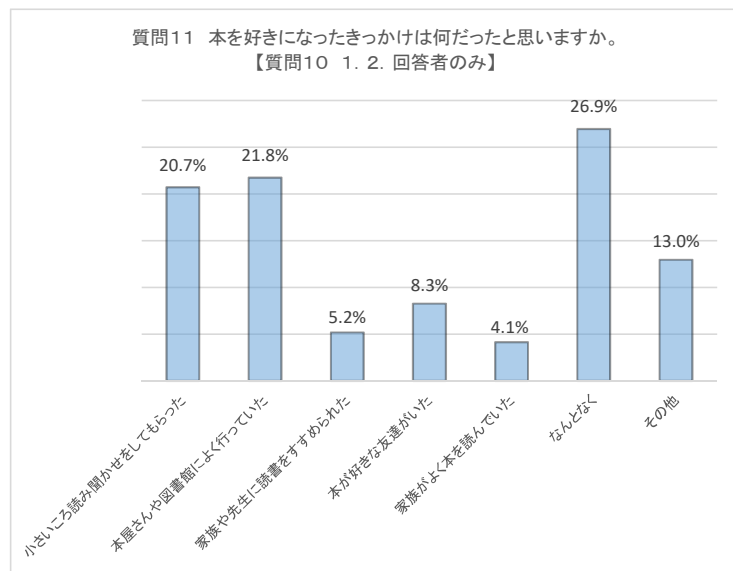
- Ⅷ 学校図書館をどのくらい利用しますか？
1. まったく利用しない 73.7%
 2. 年に数回 15.1%
 3. 毎月1~3回 8.4%
 4. 毎週1回以上 2.4%
 5. ほぼ毎日 0.4%



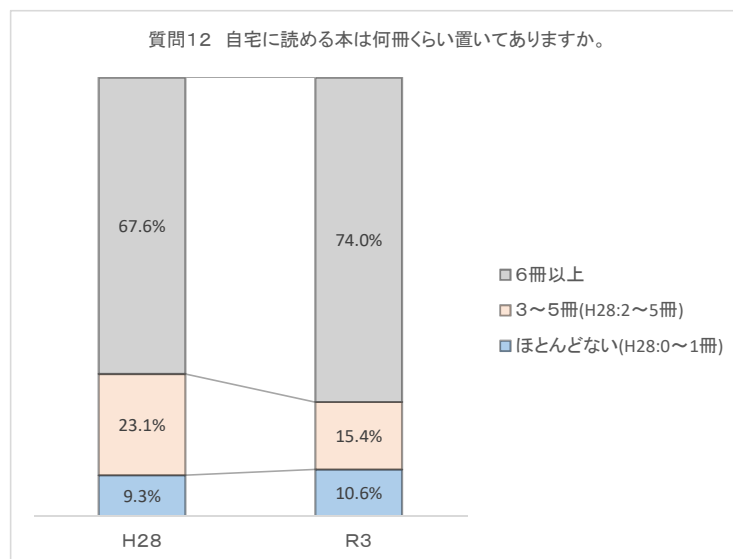
- Ⅸ 誰によく本を読んでもらったか
1. 父・母・祖父母 44.9%
 2. 保育園・幼稚園の先生 18.1%
 3. 読んでもらったことがない 4.7%
 4. 覚えていない 31.9%
 5. その他 0.4%



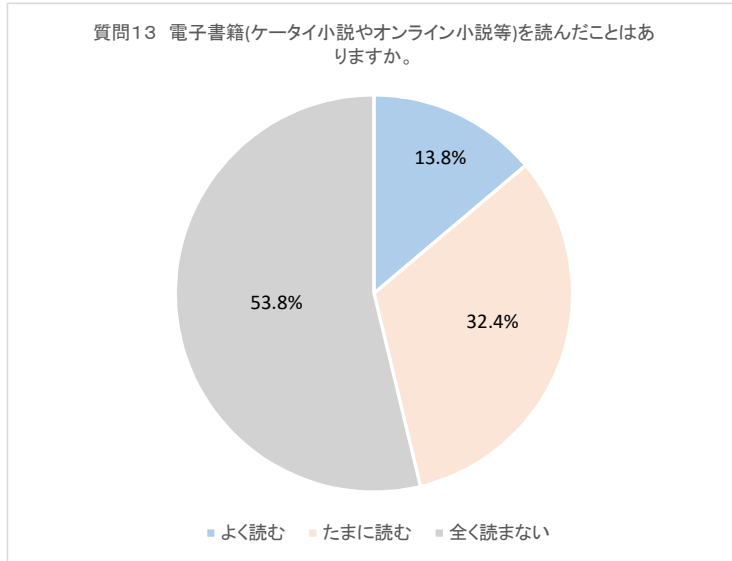
- X いつ頃から本を好きになったか
1. 小学校に入る前 17.3%
 2. 小学校に入ってから 33.1%
 3. 中学校に入ってから 24.0%
 4. 本は好きではない 25.6%



- X I Xで1, 2, 3と答えた人
本を好きになったきっかけは
1. 小さいころ読み聞かせしてもらった 20.7%
 2. 本屋さんや図書館によく行っていた 21.8%
 3. 家族や先生に読書をすすめられた 5.2%
 4. 本が好きな友達がいいた 8.3%
 5. 家族がよく本を読んでいた 4.1%
 6. なんとなく 26.9%
 7. その他 13.0%

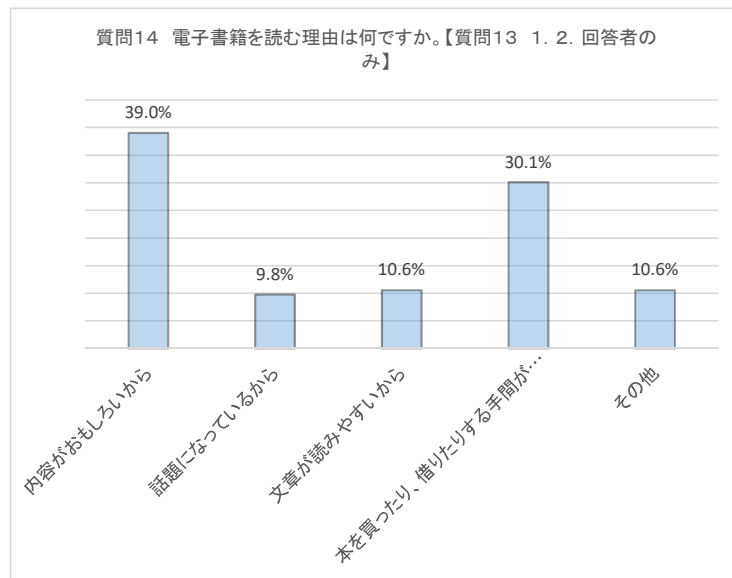


- X II 自宅にあなたが読める本は何冊あるか
1. ほとんどない 10.6%
 2. 3~5冊 15.4%
 3. 6冊以上 74.0%



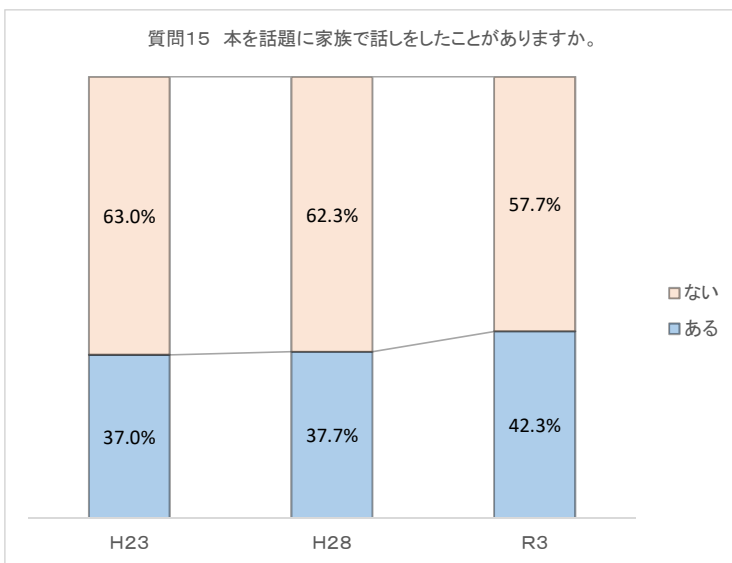
XⅢ 電子書籍(ケータイ小説やオンライン小説等)を読んだことはあるか

- よく読む 13.8%
- たまに読む 32.4%
- 全く読まない 53.8%



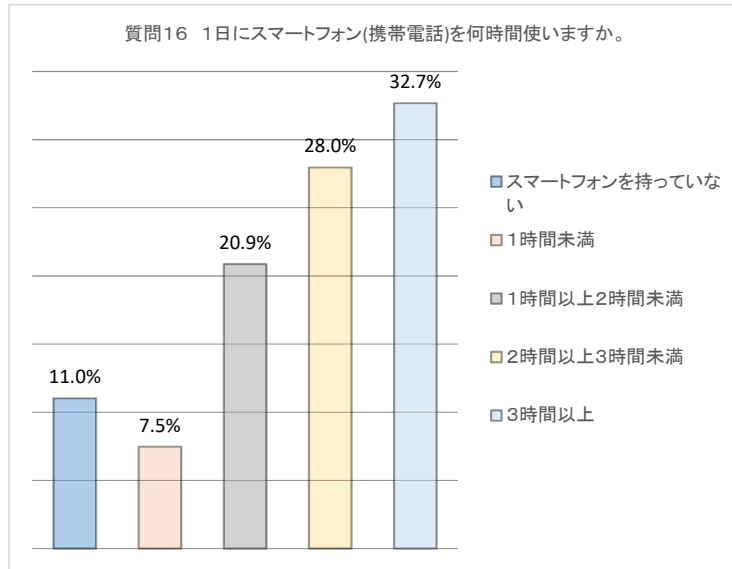
XⅣ 電子書籍を読む理由は何ですか。【質問13 1. 2. 回答者のみ】

- 内容が面白いから 39.0%
- 話題になっているから 9.8%
- 文章が読みやすいから 10.6%
- 本を買ったり、借りたりする手間がかからないから 30.1%
- その他 10.6%



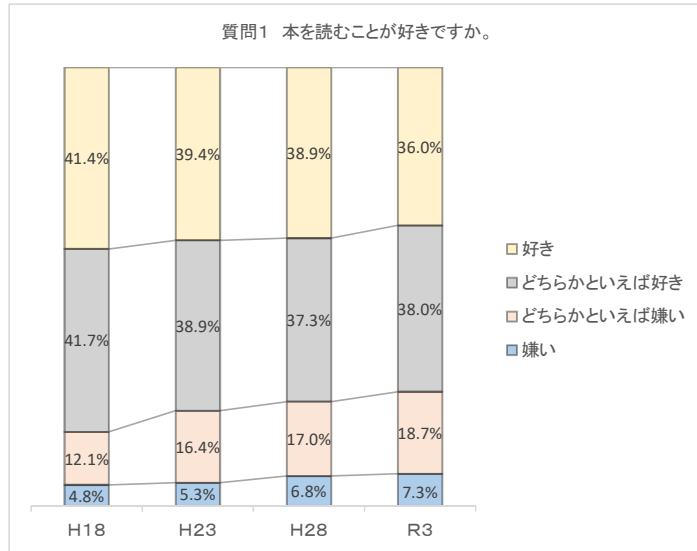
XⅤ 本を話題に家族で話しをしたことがあるか

- ある 42.3%
- ない 57.7%



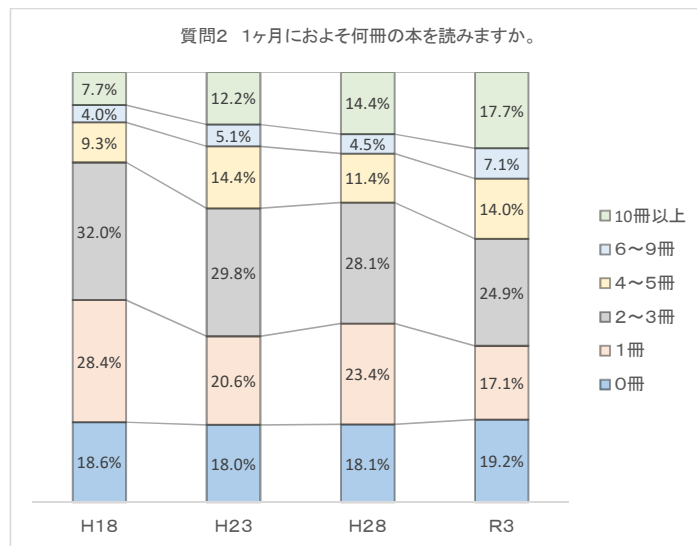
XVI 1日にスマートフォン(携帯電話)を何時間使いますか

1. スマートフォンを持っていない	11.0%
2. 1時間未満	7.5%
3. 1時間以上2時間未満	20.9%
4. 2時間以上3時間未満	28.0%
5. 3時間以上	32.7%



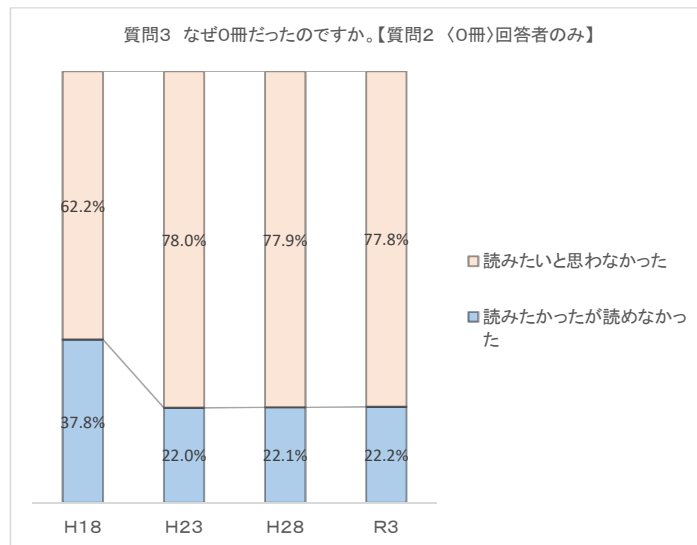
I あなたは読書が好きですか

1. 好き	36.0%
2. どちらかといえば好き	38.0%
3. どちらかといえば嫌い	18.7%
4. 嫌い	7.3%



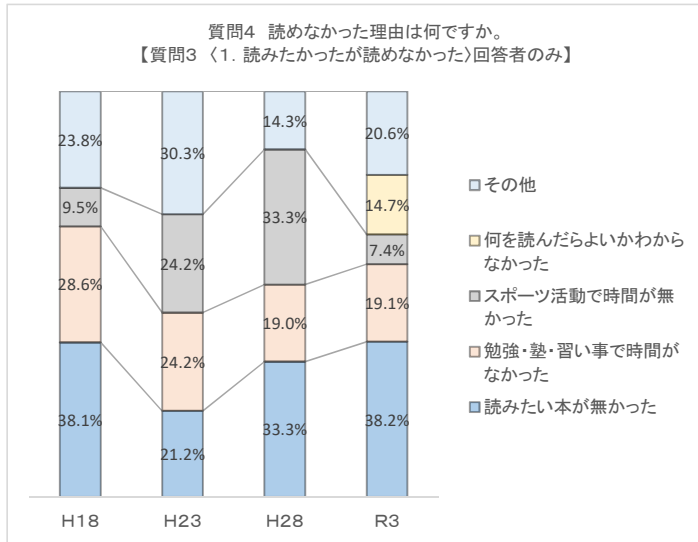
II 1ヶ月に読む本の冊数は？

1. 0冊	19.2%
2. 1冊	17.1%
3. 2~3冊	24.9%
4. 4~5冊	14.0%
5. 6~9冊	7.1%
6. 10冊以上	17.7%



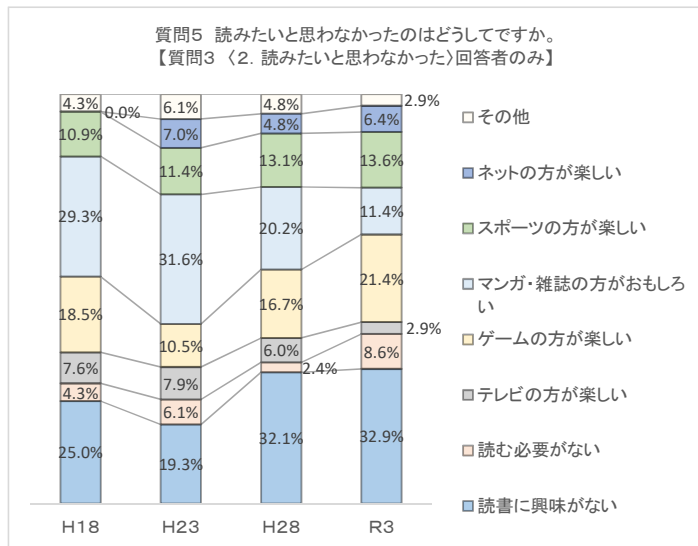
III なぜ0冊だったのですか？
(IIで0冊と答えた人)

1. 読みたかったが読めなかった	22.2%
2. 読みたいと思わなかった	77.8%



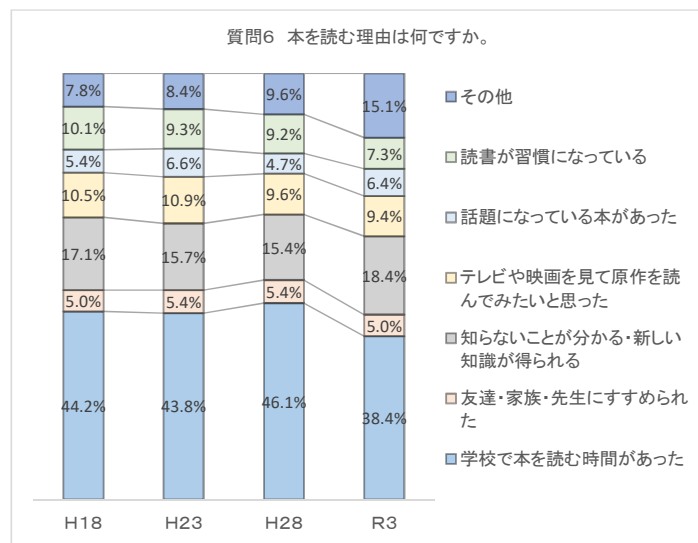
IV Ⅲで「読みたかったが読めなかった」と答えた人～その理由は？

1. 読みたい本がなかった 38.2%
2. 勉強・塾・習い事で時間がなかった 19.1%
3. スポーツ活動で時間がなかった 7.4%
4. 何を読んだらよいかわからなかった 14.7%
5. その他 20.6%



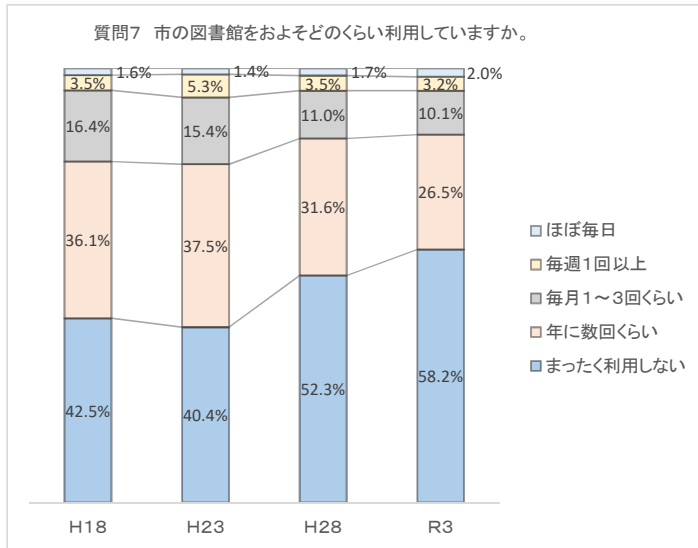
V Ⅲで「読みたいと思わなかった」と答えた人～その理由は？

1. 読書に興味がない 32.9%
2. 読む必要がなかった 8.6%
3. テレビの方が楽しい 2.9%
4. ゲームの方が楽しい 21.4%
5. マンガ・雑誌の方が面白い 11.4%
6. スポーツの方が楽しい 13.6%
7. インターネットの方が楽しい 6.4%
8. その他 2.9%



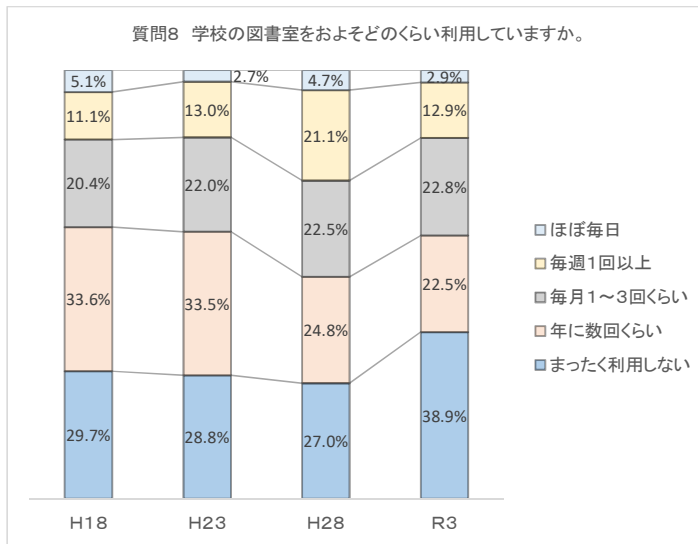
VI (学校の授業等も含め) 本を読む理由は何ですか？

1. 学校で読む時間があつた (朝の読書、夏休みの課題等) 38.4%
2. 友達・家族・先生にすすめられた 5.0%
3. 知らないことが分かる・新しい知識が得られる 18.4%
4. テレビや映画を見て原作を読みたいと思った 9.4%
5. 話題の本があつた 6.4%
6. 読書が習慣になっている 7.3%
7. その他 15.1%



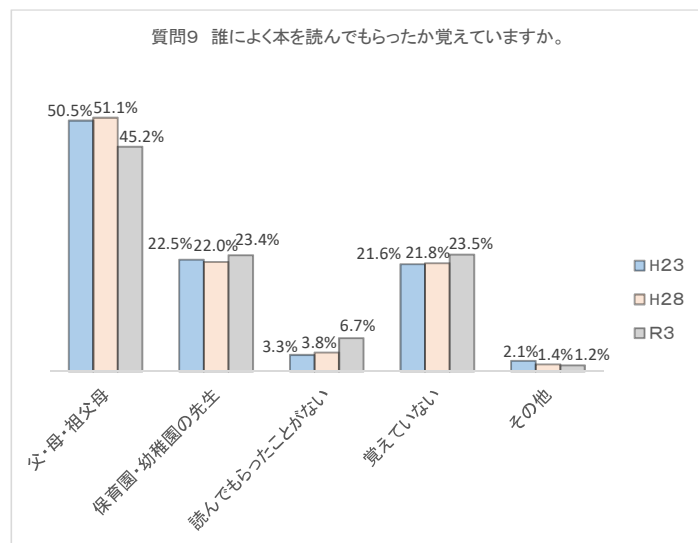
VII 市図書館をどのくらい利用しますか？

- まったく利用しない 58.2%
- 年に数回 26.5%
- 毎月1~3回 10.1%
- 毎週1回以上 3.2%
- ほぼ毎日 2.0%



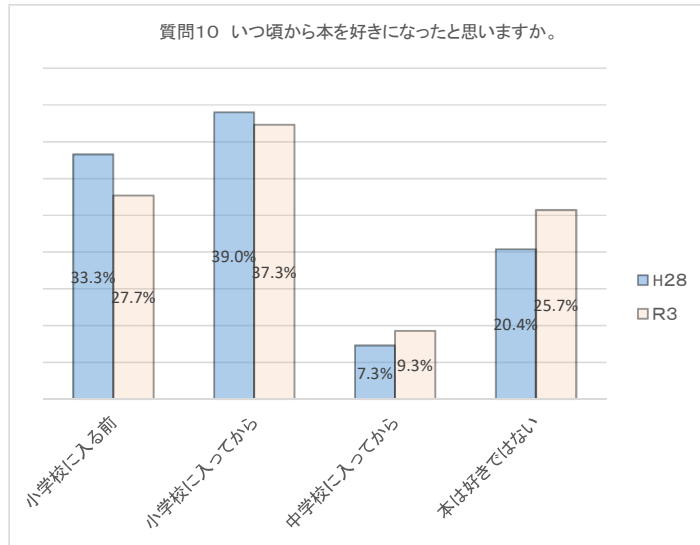
VIII 学校図書館をどのくらい利用しますか？

- まったく利用しない 38.9%
- 年に数回 22.5%
- 毎月1~3回 22.8%
- 毎週1回以上 12.9%
- ほぼ毎日 2.9%



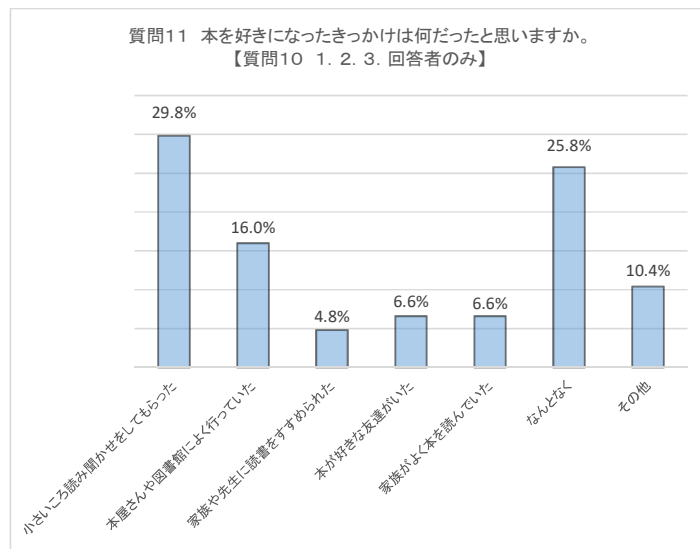
IX 誰によく本を読んでもらったか

- 父・母・祖父母 45.2%
- 保育園・幼稚園の先生 23.4%
- 読んでもらったことがない 6.7%
- 覚えていない 23.5%
- その他 1.2%



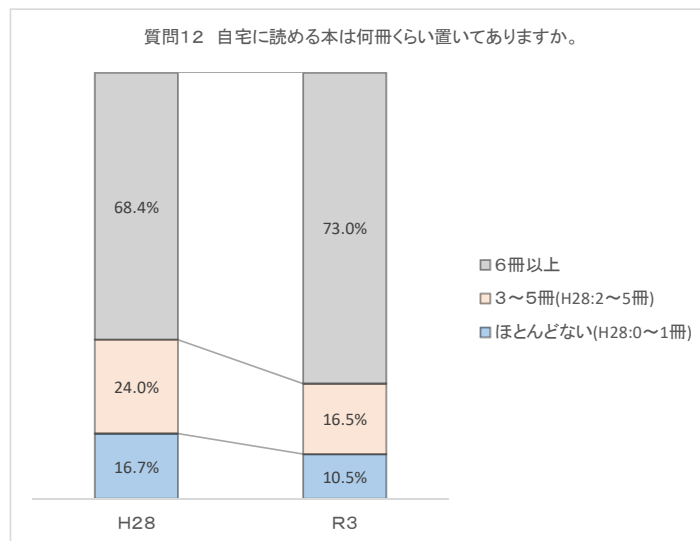
X いつ頃から本を好きになったか

1. 小学校に入る前 27.7%
2. 小学校に入ってから 37.3%
3. 中学校に入ってから 9.3%
4. 本は好きではない 25.7%



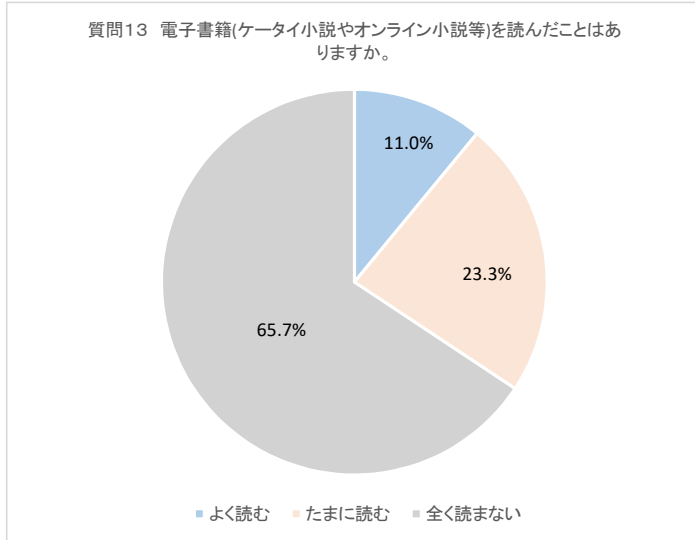
X I Xで1, 2, 3と答えた人
本を好きになったきっかけは

1. 小さいころ読み聞かせしてもらった 29.8%
2. 本屋さんや図書館によく行っていた 16.0%
3. 家族や先生に読書をすすめられた 4.8%
4. 本が好きな友達がいいた 6.6%
5. 家族がよく本を読んでいた 6.6%
6. なんとなく 25.8%
7. その他 10.4%



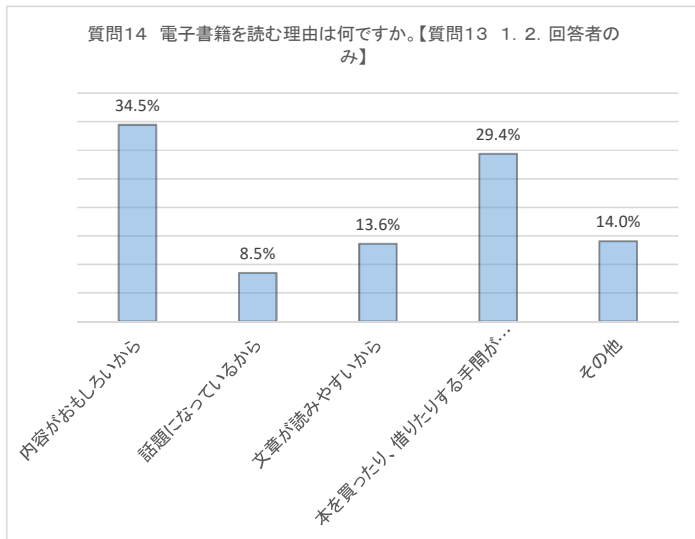
X II 自宅にあなたが読める本は何冊あるか

1. ほとんどない 10.5%
2. 3~5冊 16.5%
3. 6冊以上 73.0%



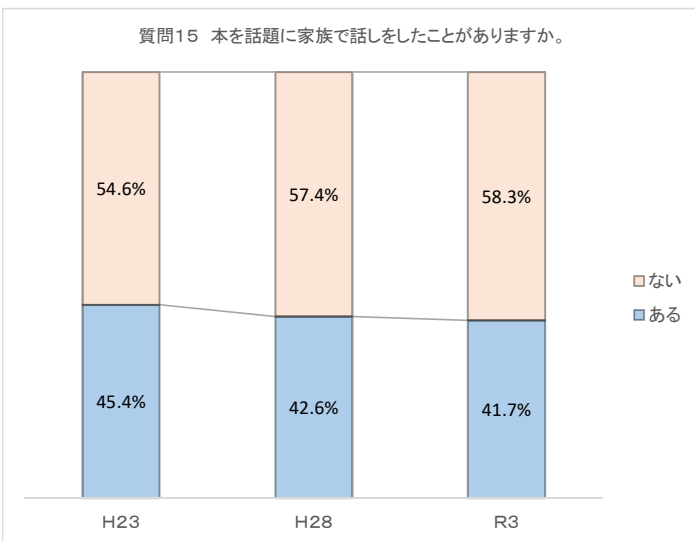
XⅢ 電子書籍(ケータイ小説やオンライン小説等)を読んだことはあるか

- よく読む 11.0%
- たまに読む 23.3%
- 全く読まない 65.7%



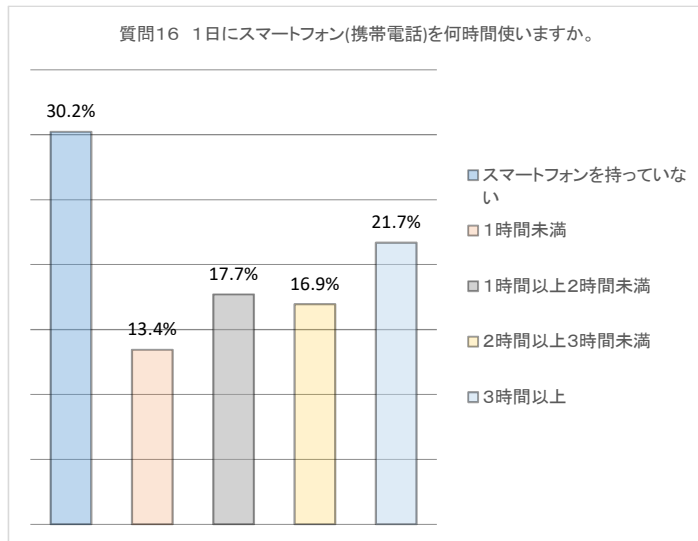
XⅣ 電子書籍を読む理由は何ですか。
【質問13 1. 2. 回答者のみ】

- 内容が面白いから 34.5%
- 話題になっているから 8.5%
- 文章が読みやすいから 13.6%
- 本を買ったり、借りたりする手間がかからないから 29.4%
- その他 14.0%



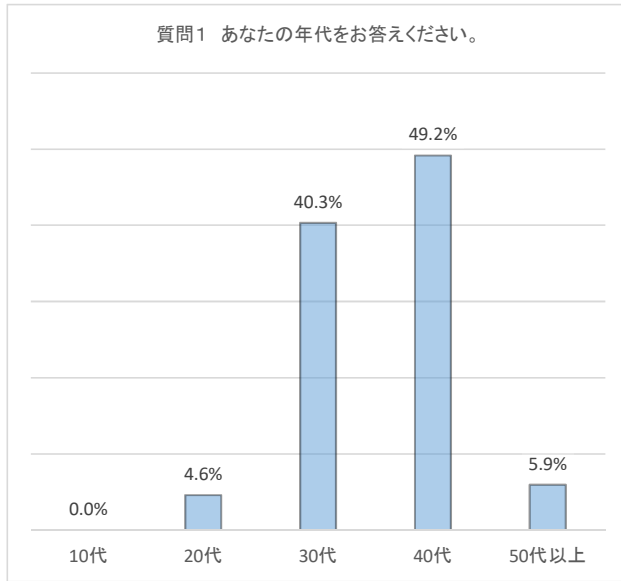
XⅤ 本を話題に家族で話しをしたことがあるか

- ある 41.7%
- ない 58.3%

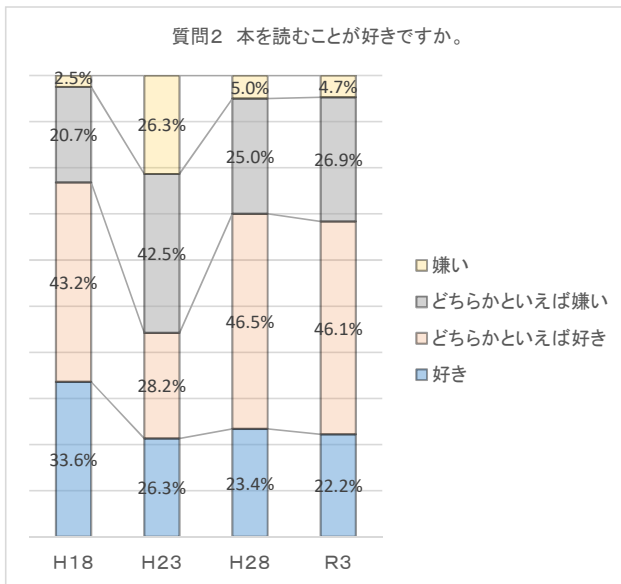


XVI 1日にスマートフォン(携帯電話)を何時間使いますか

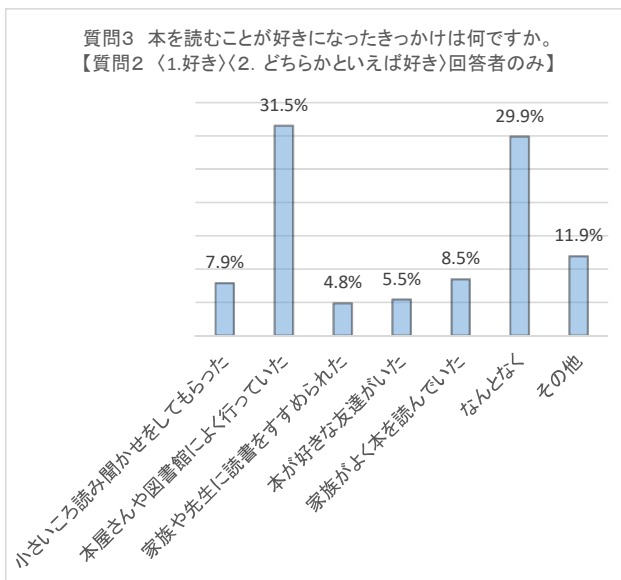
1. スマートフォンを持っていない	30.2%
2. 1時間未満	13.4%
3. 1時間以上2時間未満	17.7%
4. 2時間以上3時間未満	16.9%
5. 3時間以上	21.7%



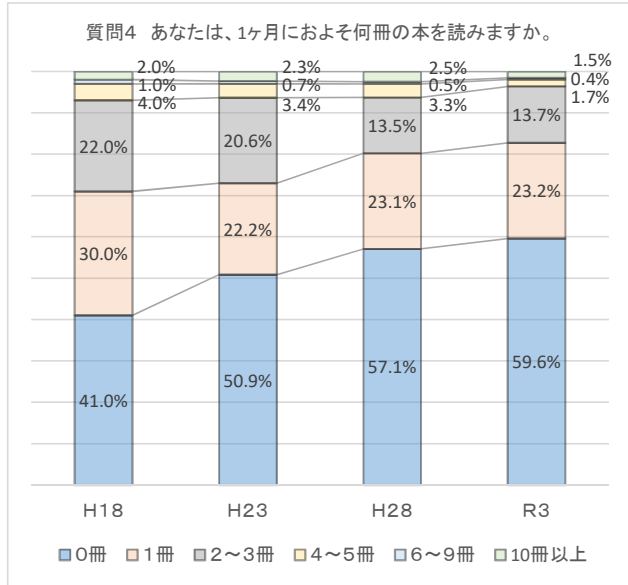
- I あなたの年代は
- 10代 0.0%
 - 20代 4.6%
 - 30代 40.3%
 - 40代 49.2%
 - 50代以上 5.9%



- II あなたは読書が好きですか
- 好き 22.2%
 - どちらかといえば好き 46.1%
 - どちらかといえば嫌い 26.9%
 - 嫌い 4.7%

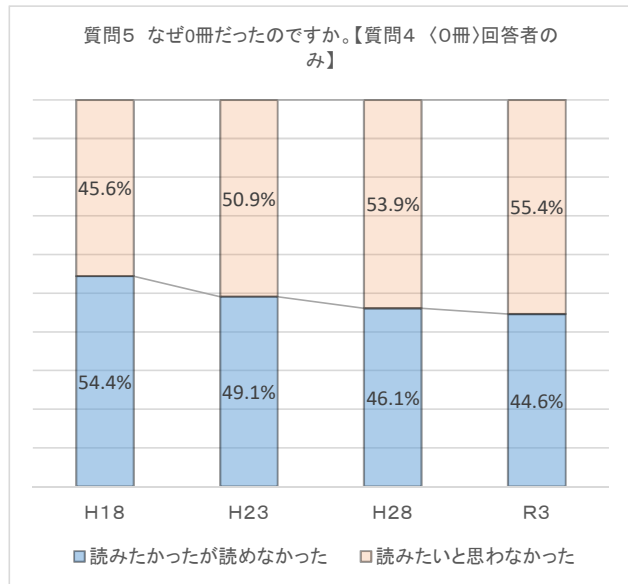


- III IIで1, 2と答えた人
本を好きになったきっかけは
- 小さいころ読み聞かせをしてもらった 7.9%
 - 本屋さんや図書館によく行っていた 31.5%
 - 家族や先生に読書をすすめられた 4.8%
 - 本が好きなお友達がいた 5.5%
 - 家族がよく本を読んでいた 8.5%
 - なんとなく 29.9%
 - その他 11.9%



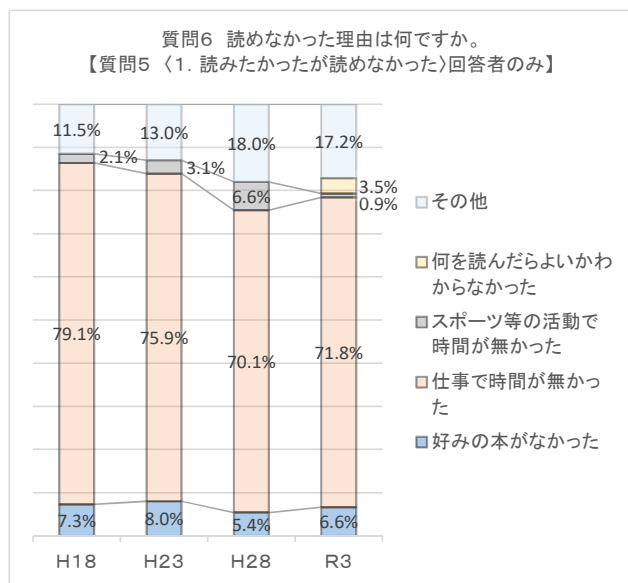
IV 1ヶ月に読む本の冊数は？

1. 0冊	59.6%
2. 1冊	23.2%
3. 2~3冊	13.7%
4. 4~5冊	1.7%
5. 6~9冊	0.4%
6. 10冊以上	1.5%



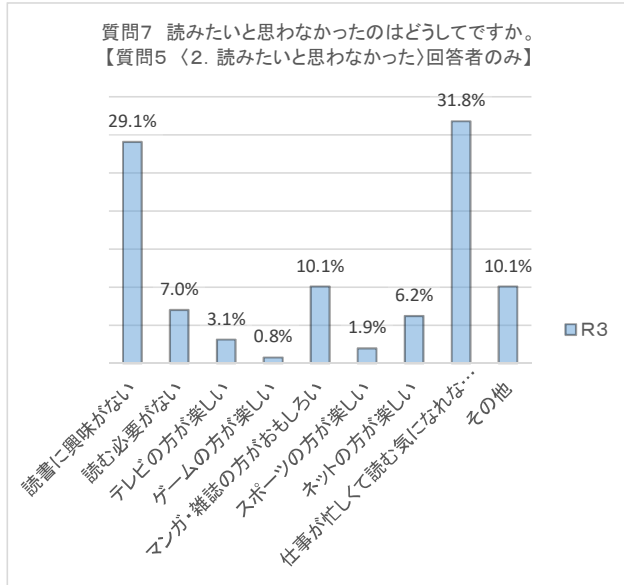
V なぜ0冊だったのですか？
(IVで0冊と答えた人)

1. 読みたかったが読めなかった	44.6%
2. 読みたいと思わなかった	55.4%

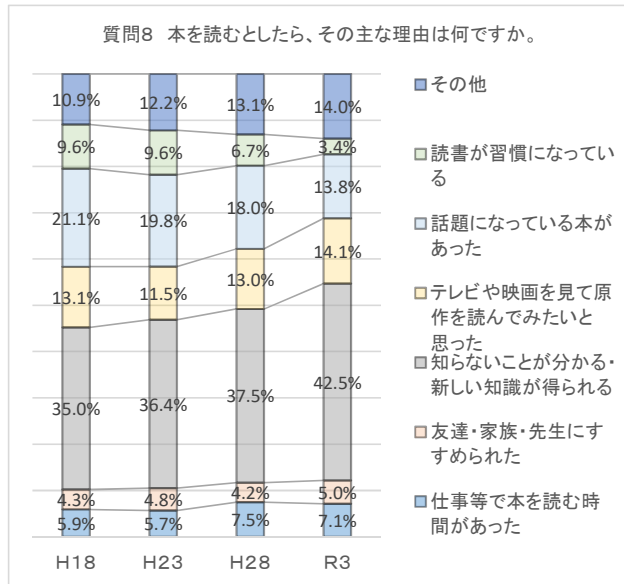


VI Vで「読みたかったが読めなかった」と答えた人～その理由は？

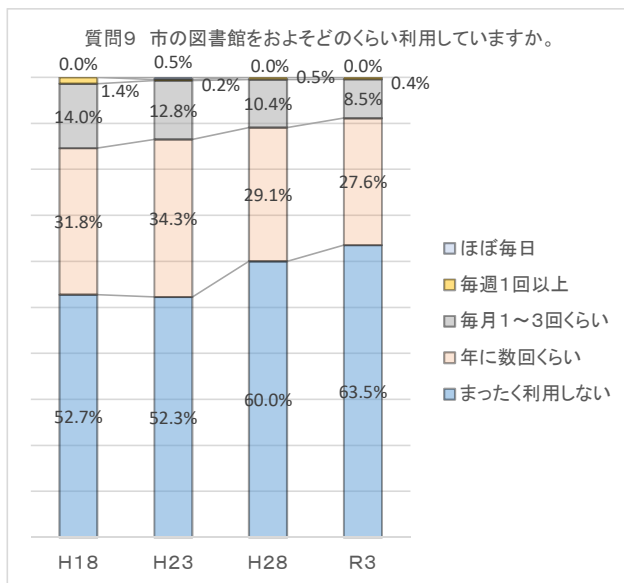
1. 好みの本がなかった	6.6%
2. 仕事で時間がなかった	71.8%
3. スポーツ等の活動で時間がなかった	0.9%
4. 何をを読んだらよいかわからなかった	3.5%
5. その他	17.2%



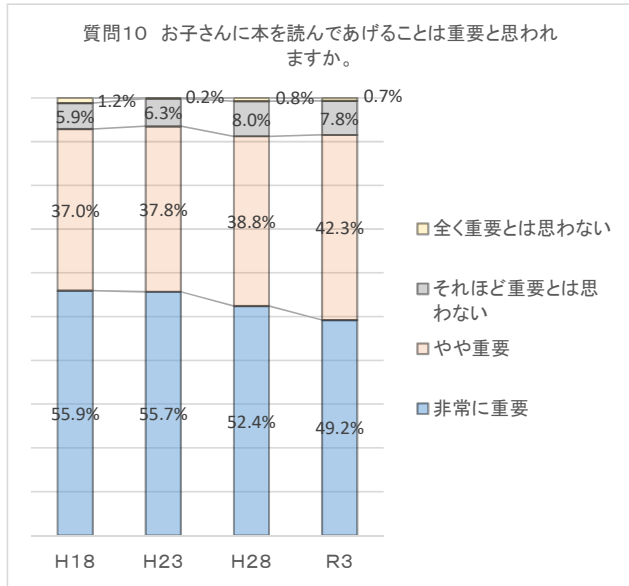
- VII Vで「読みたいと思わなかった」と答えた人～その理由は？
- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 読書に興味がない | 29.1% |
| 2. 読む必要がない | 7.0% |
| 3. テレビの方が楽しい | 3.1% |
| 4. ゲームの方が楽しい | 0.8% |
| 5. マンガ・雑誌の方が面白い | 10.1% |
| 6. スポーツの方が楽しい | 1.9% |
| 7. インターネットの方が楽しい | 6.2% |
| 8. 仕事で忙しくて読む気になれなかった | 31.8% |
| 9. その他 | 10.1% |



- VIII 本を読む理由はなんですか？
- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 仕事等で読む時間があつた | 7.1% |
| 2. 友達・家族・先生にすすめられた | 5.0% |
| 3. 知らないことが分かる・新しい知識が得られる | 42.5% |
| 4. テレビや映画を見て原作を読みたいと思った | 14.1% |
| 5. 話題の本があつた | 13.8% |
| 6. 読書が習慣になっている | 3.4% |
| 7. その他 | 14.0% |

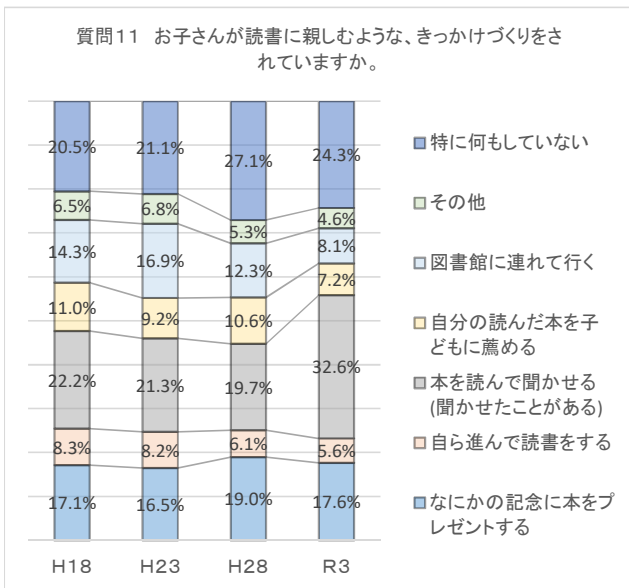


- IX 市図書館をどのくらい利用しますか？
- | | |
|--------------|-------|
| 1. まったく利用しない | 63.5% |
| 2. 年に数回 | 27.6% |
| 3. 毎月1～3回 | 8.5% |
| 4. 毎週1回以上 | 0.4% |
| 5. ほぼ毎日 | 0.0% |



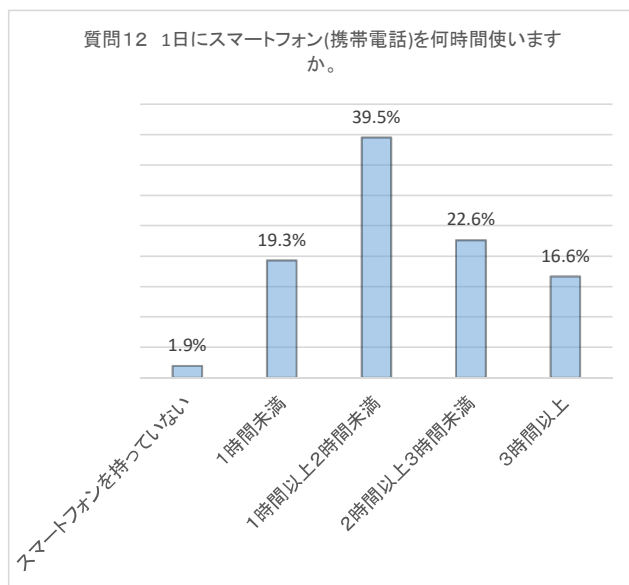
X お子さんに本を読んであげることが重要と思うか

1. 非常に重要	49.2%
2. やや重要	42.3%
3. それほど重要とは思わない	7.8%
4. 全く重要とは思わない	0.7%



XI お子さんが読書に親しむようなきっかけづくりをしているか

1. なにかの記念日に本をプレゼントする	17.6%
2. 自ら進んで読書をする	5.6%
3. 本を読んで聞かせる(聞かせたことがある)	32.6%
4. 自分の読んだ本を子どもに薦める	7.2%
5. 図書館に連れて行く	8.1%
6. その他	4.6%
7. 特に何もしていない	24.3%



XII 1日にスマートフォン(携帯電話)を何時間使いますか

1. スマートフォンを持っていない	1.9%
2. 1時間未満	19.3%
3. 1時間以上2時間未満	39.5%
4. 2時間以上3時間未満	22.6%
5. 3時間以上	16.6%

白石市における子ども読書活動関係事業などの調査について

○白石市子ども読書活動関係事業など調査実施要項（抜粋）

1. 目的

白石市関係機関における、子どもの読書活動推進にかかる事業などについて、その現状や実績を把握し、策定を予定している「第四次白石市子ども読書活動推進計画」の基礎資料とするとともに、今後更なる事業の展開を図るため、調査を実施する。

2. 調査対象

- (1) 調査は、子どもの読書活動を推進する白石市関係機関を対象として行う。
- (2) 関係機関が、令和2年度および令和3年度に実施または実施を予定している事業や活動、およびそれに関わる団体などについて調査する。
- (3) それ以前に行ったものについて、特筆すべきものがあれば対象とする。
- (4) 本調査において、「子ども」とは概ね18歳以下を指すものとする。
また、「事業」や「活動」とは、子どもを対象とするものおよび子どもの読書活動を支援する体制の整備（読書ボランティアの養成、図書室の整備等）にかかるものを指すものとする。
- (5) 「事業」や「活動」については、関係機関で主催しているもののほか、共催しているものおよび場所を提供しているものなどについても対象とする。

3. 調査方法

- (1) 実施については、関係機関に別紙「調査票」および「調査票の記入について」を配布して行う。
- (2) 回収については、教育委員会生涯学習課まで「調査票」を提出するものとする。

4. 調査期間

調査票の配布及び回収は以下に定める日程で行う。

- (1) 配布日 令和3年9月1日（水）
- (2) 回収（提出）期限 令和3年9月24日（金）

白石市内の子ども読書活動に関する活動事例

関係機関が行っている主な活動の一覧表です。このほかにも各種イベント等において関連する活動が行われています。

No.	名称	内容	実施機関	備考
1	おはなしひろば	図書館ボランティアの育成を図りながら、継続的に読み聞かせ会を実施。	図書館	
2	こどもの読書週間関連事業	子どもの読書週間にあわせ、手作り絵本、仕掛け絵本の展示。ひらがなしおり、紙バックのプレゼントを行っている。	図書館	
3	出前読み聞かせ	図書ボランティアの育成を図りながら、継続的に幼稚園・保育園・小学校で出前読み聞かせを実施。	図書館	
4	ブックスタート読み聞かせ	6か月育児相談に訪れた親子に、図書館ボランティアによる読み聞かせを実施。平成17年9月からは、ブックスタートとして、絵本を贈呈。(社会福祉協議会と共催)	図書館	
5	図書館体験隊	児童の図書館利用と理解の促進のため、1日図書館員を体験するイベントを実施。	図書館	
6	児童読書感想文『さざんか』の発行	昭和32年からの事業。冊子の発行。	図書館	
7	移動図書館車『こまくさ号』の運行	昭和45年度からの事業。市内各所への配本及び貸出事業。	図書館	
8	職場体験・見学の受け入れ	幼稚園・保育園・小学校の施設見学、中学生・高校生の職場体験受け入れ。	図書館	
9	よむよむひろば	絵本コーナーの設置や読み聞かせ会を実施し、絵本を介した親子のふれあいを支援している。	こじゅうろうキッズランド	
10	年齢別子育てサークル「るーむ」	年齢や月齢に合わせた絵本や、季節、遊びに関連した絵本の読み聞かせ、紙芝居やパネルシアターの紹介を行っている。	子育て支援センター	
11	絵本の読み聞かせ会	発達に応じた絵本の読み聞かせと紹介を行う。	子育て支援センター	
12	やんちゃっこ絵本コーナー	おすすめの絵本展示。	子育て支援センター	
13	絵本の読み聞かせ	発達に遅れや心配のある未就学児とその保護者の方達に読み聞かせを行っている。	ひこうせん	
14	読み聞かせ	絵本等の読み聞かせを実施。	放課後児童クラブ 放課後子ども教室	
15	一年生を迎える会	新一年生を対象に、大型絵本の読み聞かせを実施。	第一児童館	
16	絵本の貸し出し	絵本の貸し出しを行っている。	幼稚園	
17	自由購読の推進	各家庭において絵本に親しめるように自由購読を投げかけ、希望者に購入配本している。	第二幼稚園	
18	絵本等の読み聞かせ	園生活の流れの中で、子どもの発達段階に応じた絵本等の読み聞かせを実施。	幼稚園・保育園	
19	読み聞かせ	学校支援ボランティアが、読み聞かせやブックトーク等を実施。	小学校	
20	図書室の環境整備	学校支援ボランティアが、本棚の整理や本の補修、掲示板の入れ替えなどを行う。	小学校	
21	図書まつり	図書委員会が読み聞かせ、ブックトーク、スタンプラリー、クイズ等企画運営し、図書まつりを実施。	第一小学校 福岡小学校 深谷小学校	
22	おすすめの本の紹介	図書委員が中心になり、児童や教師のおすすめの本を写真とコメントを添えて、図書室前に掲示し、紹介。	大平小学校	
23	朝読書	朝10分間の読書を実施。静かな雰囲気朝の会・授業を始めることができる。	中学校	
24	本の貸出	図書委員による本の貸出。新刊・おすすめコーナーを設置。	中学校	
25	「白石市子どもを育てるヒント集」の発行	読書に関するページを設けている。	学校教育課	
26	ホームページの作成	市生涯学習課ページ内に作成、情報提供を行っている。	生涯学習課	

第四次白石市子ども読書活動推進計画

令和4年4月

編集・発行 白石市教育委員会生涯学習課

白石市図書館

TEL:0224-22-1343 0224-26-3004